

はちおうじし
八王子市

しょうがいしゃちょうさほうこくしょ
障害者調査報告書

平成30年3月

へいせい ねん がつ
平成30年3月

はち おう じ し
八 王 子 市

八王子市

目次

第1章	調査の概要	1
1	調査概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査内容と回収状況	1
(3)	主な調査項目	1
(4)	集計について	1
第2章	アンケート結果	2
1	18歳以上向けの障害者アンケート	2
(1)	回答者の属性について	2
(2)	医療について	7
(3)	家族・介助について	9
(4)	日常生活について	15
(5)	災害について	21
(6)	住まいについて	25
(7)	外出について	28
(8)	権利擁護について	31
(9)	雇用・就労について	35
(10)	切れ目ない支援について	40
(11)	施策について	41
2	18歳未満とその保護者向けの障害者アンケート	43
(1)	回答者の属性について	43
(2)	医療について	47
(3)	家族・介助について	49
(4)	日常生活について	53
(5)	災害について	60
(6)	住まいについて	63
(7)	外出について	65
(8)	権利擁護について	69

(9)	教育・療育 <small>きょういく りょういく</small> について	72
(10)	切れ目ない支援 <small>き め しえん</small> について	80
(11)	施策 <small>しさく</small> について	81
だい	第3章 自由意見のまとめ <small>しょう じゆういけん</small>	83
1	18歳以上向けの障害者アンケートより <small>さいじょうむ しょうがいしゃ</small>	83
2	18歳未満とその保護者向けの障害者アンケートより <small>さいみまん ほごしゃむ しょうがいしゃ</small>	87
だい	第4章 アンケート調査票 <small>しょう ちょうさひょう</small>	90
1	「18歳以上向けの障害者アンケート」調査票 <small>さいじょうむ しょうがいしゃ ちょうさひょう</small>	90
2	「18歳未満とその保護者向けの障害者アンケート」調査票 <small>さいみまん ほごしゃむ しょうがいしゃ ちょうさひょう</small>	100

第1章 調査の概要

1 調査概要

(1) 調査の目的

八王子市障害者計画、第4次障害福祉計画、第1期障害児福祉計画の策定にあたり、障害者（18歳以上、18歳未満とその保護者）に対して、計画改定の際の基礎資料とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

(2) 調査内容と回収状況

	18歳以上向け の障害者アンケート	18歳未満とその保護者向け の障害者アンケート
調査期間	平成29年5月～6月	
調査方法	郵送配布・回収	
配布数	1,500票	500票
回収数	776票	248票
回収率	51.7%	49.6%

(3) 主な調査項目

障害者の生活実態、福祉サービス利用状況、今抱えている課題、今後の希望などを把握することを目的とし、以下の内容についてアンケートを実施しました。

- 本人について
- 医療について
- 家族・介助について
- 日常生活について
- 災害について
- 住まいについて
- 外出について
- 権利擁護について
- 就労について
- 教育・療養について
- 切れ目ない支援について
- 市の障害福祉施策について

(4) 集計について

- ・ 集計表の「全体」の件数は無回答を含めた回答者数の合計です。
- ・ 条件付きの間は、その間に答えるべき人の合計が「全体」の件数です。
- ・ パーセントは回答ごとの件数を回答者数の合計で割って算出しています。
- ・ 集計表にある＜SA＞は単数回答、＜MA＞は複数回答の略です。
- ・ 複数回答ではパーセントの合計が100%を超えることがあります。
- ・ 集計表ではスペースの関係上、選択肢を一部省略して表示しています。

第2章 アンケート結果

1 18歳以上向けの障害者アンケート

(1) 回答者の属性について

① 調査の回答者 (問1)

調査票の回答者は「あて名ご本人」が80.0%と最も多く、ついで「ご家族の方」が15.9%となっています。

■ 【Q1】 調査票の回答者 <SA>

	全体	あて名ご本人	ご家族の方	その他	無回答
件数	776	621	123	5	27
%	100.0	80.0	15.9	0.6	3.5

② 性別 (問2)

回答者の性別は「男性」が50.6%と、「女性」の48.7%をやや上回っています。

■ 【Q2】 ①性別 <SA>

	全体	男性	女性	無回答
件数	776	393	378	5
%	100.0	50.6	48.7	0.6

③ 年齢 (問3)

回答者の年齢は幅広い年代から回答をいただいています。

■ 【Q3】 ②年齢 (IN→SA) <SA>

	全体	10代	20代	30代	40代	50代
件数	776	11	41	58	114	89
%	100.0	1.4	5.3	7.5	14.7	11.5

	60代	70代	80代	90代以上	無回答
件数	149	167	110	30	7
%	19.2	21.5	14.2	3.9	0.9

障害の種類別にみた回答者の年齢分布は、身体障害者手帳所持者では「75歳以上」の回答者が最も多く、65歳以上の高齢者が約7割を占めています。

愛の手帳所持者や精神障害者保健福祉手帳所持者、発達障害の診断を受けている人などでは「40代」を中心に若年層の回答が多い傾向となっています。

高次脳機能障害の診断を受けている人や難病（特定疾患）の診断を受けている人などでは、「65～74歳」が最も多くなっています。

■表頭：【Q3】あなたの年齢をお聞きます。（IN→SA）

（上段：件数、下段：横%）

	合計	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答
全体	766 100.0	52 6.8	58 7.6	114 14.9	89 11.6	53 6.9	177 23.1	222 29.0	1 0.1
身体障害者手帳	529 100.0	18 3.4	22 4.2	34 6.4	58 11.0	34 6.4	157 29.7	205 38.8	1 0.2
愛の手帳	103 100.0	31 30.1	19 18.4	33 32.0	10 9.7	1 1.0	6 5.8	3 2.9	
精神障害者保健福祉手帳	126 100.0	10 7.9	25 19.8	45 35.7	18 14.3	8 6.3	11 8.7	9 7.1	
発達障害の診断を受けている	16 100.0	4 25.0	4 25.0	6 37.5	1 6.3		1 6.3		
高次脳機能障害の診断を受けている	3 100.0				1 33.3		2 66.7		
難病（特定疾患）の診断を受けている	78 100.0	4 5.1	8 10.3	13 16.7	11 14.1	11 14.1	21 26.9	10 12.8	
手帳は持っていない	26 100.0	3 11.5		5 19.2	4 15.4	6 23.1	3 11.5	5 19.2	

④ ^{きよじゅうち}居住地 (^{ちょうめい}町名・^{とい}問4)

回答者の^{かいとうしゃ}居住地は「^{きよじゅうち}長房町(30件)」や「^{ながふさまち}南大沢(25件)」、^{みなみおおさわ}「石川町(23件)」などが
^{おお}やや多いほか、^{はばひろ}幅広い^{ちいき}地域から^{かいとう}回答をいただいています。

※町名の後ろの () が件数

暁町(5)、旭町(0)、東町(0)、石川町(23)、泉町(5)、犬目町(9)、上野町(1)、打越町(10)、宇津木町(2)、宇津貫町(0)、梅坪町(1)、裏高尾町(3)、追分町(2)、大塚(6)、大船町(1)、大谷町(5)、大横町(3)、大和田町(20)、小門町(2)、尾崎町(0)、小津町(0)、鹿島(4)、加住町(0)、片倉町(15)、叶谷町(1)、上巻分方町(4)、上恩方町(1)、上川町(3)、上柚木(10)、川口町(15)、川町(2)、北野台(12)、北野町(11)、絹ヶ丘(9)、清川町(2)、櫛田町(6)、久保山町(7)、越野(6)、小比企町(3)、小宮町(4)、子安町(17)、左入町(4)、散田町(19)、下恩方町(8)、下柚木(10)、城山手(3)、新町(3)、諏訪町(13)、千人町(9)、台町(17)、大楽寺町(6)、平町(0)、高尾町(3)、高倉町(2)、高月町(0)、滝山町(3)、館町(20)、田町(0)、丹木町(1)、寺田町(11)、寺町(3)、天神町(2)、廿里町(0)、戸吹町(2)、中町(0)、長沼町(4)、中野上町(13)、中野山王(11)、中野町(9)、長房町(30)、中山(1)、七国(7)、並木町(3)、櫛原町(10)、南陽台(4)、西浅川町(0)、西片倉(0)、西寺方町(15)、弐分方町(5)、狭間町(8)、八幡町(1)、初沢町(8)、東浅川町(15)、東中野(0)、兵衛(0)、日吉町(3)、平岡町(3)、富士見町(4)、別所(18)、堀之内(4)、本郷町(1)、本町(1)、松が谷(10)、松木(4)、丸山町(2)、三崎町(1)、みついで(6)、緑町(15)、南浅川町(0)、南大沢(25)、南新町(0)、南町(0)、みなみ野(6)、宮下町(3)、美山町(8)、明神町(11)、めじろ台(16)、元八王子町(15)、元本郷町(13)、元横山町(7)、八木町(1)、谷野町(2)、山田町(1)、鑓水(10)、八日町(3)、横川町(19)、横山町(2)、四谷町(5)、万町(1)、無回答・その他(43)

⑤ 障害を受けた時期 (問5)

障害を受けた時期は「40～64歳」が31.2%と最も多く、ついで「65歳以上」が23.6%となっています。

■【Q5】障害を受けた時期 <SA>

	全体	0～5歳	6～11歳	12～17歳	18～39歳	40～64歳	65歳以上	覚えていない	無回答
件数	776	109	19	29	156	242	183	13	25
%	100.0	14.0	2.4	3.7	20.1	31.2	23.6	1.7	3.2

⑥ 手帳の種類・発達障害等の診断の有無 (問6)

手帳の種類は「身体障害者手帳」が68.2%と最も多く、ついで「精神障害者保健福祉手帳」が16.2%となっています。

■【Q6】手帳の種類 <MA>

	全体	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	発達障害の診断を受けている	高次脳機能障害の診断を受けている	難病(特定疾患)の診断を受けている	手帳は持っていない	無回答
件数	776	529	103	126	16	3	78	26	10
%	100.0	68.2	13.3	16.2	2.1	0.4	10.1	3.4	1.3

⑦ (身体障害者手帳所持者のみ) 手帳の等級 (問6-1)

身体障害者手帳を持つ人の等級は「1級」が51.6%と最も多く、ついで「3級」が21.0%となっています。

■【Q6-1】身体障害者手帳の等級 <SA> 《非該当：247件を除く》

	全体	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
件数	529	273	72	111	31	29	0	13
%	100.0	51.6	13.6	21.0	5.9	5.5	0.0	2.5

⑧ (愛の手帳所持者のみ) 手帳の等級 (問6-2)

愛の手帳を持つ人の等級は「4度」が35.9%と最も多く、ついで「3度」が26.2%となっています。

■【Q6-2】愛の手帳の等級 <SA> 《非該当：673件 を除く》

	全体	1度	2度	3度	4度	無回答
件数	103	11	25	27	37	3
%	100.0	10.7	24.3	26.2	35.9	2.9

⑨ (精神障害者保健福祉手帳所持者のみ) 手帳の等級 (問6-3)

精神障害者保健福祉手帳を持つ人の等級は「2級」が58.7%と最も多く、ついで「3級」が30.2%となっています。

■【Q6-3】精神障害者保健福祉手帳の等級 <SA> 《非該当：650件 を除く》

	全体	1級	2級	3級	無回答
件数	126	11	74	38	3
%	100.0	8.7	58.7	30.2	2.4

⑩ (身体障害者手帳所持者のみ) 障害の種類 (問7)

身体障害者手帳を持つ人の障害の種類は「肢体不自由」が49.3%と最も多く、ついで「内部障害」が32.7%となっています。

■【Q7】(身体障害者のみ) 障害の種類は何ですか。 <MA> 《非該当：247件 を除く》

	全体	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしやく機能障害	肢体不自由	内部障害	無回答
件数	529	44	55	21	261	173	24
%	100.0	8.3	10.4	4.0	49.3	32.7	4.5

(2) 医療について

① 医療機関の受診状況（問8）

障害に関する医療機関の受診状況は「通院している」が68.4%と最も多く、ついで「受診していない」が22.7%となっています。

■【Q8】あなたは現在、障害に関することで医療機関を受診していますか。 <SA>

	全 体	受診して いない	通院して いる	入院して いる	自宅で往 診を受け ている	その他	無回答
件 数	776	176	531	12	19	12	26
%	100.0	22.7	68.4	1.5	2.4	1.5	3.4

② 医療に関する困りごと（問9）

医療に関する困りごとは「特にない」が47.8%と最も多く、ついで「医療機関が家の近くにない」16.1%、「医療費の負担が大きい」14.8%などとなっています。

■【Q9】あなたには、医療に関して困っていることがありますか。 <MA>

	全 体	医療機関 が家の近 くにない	障害につ いての専 門の医療 機関がな い	休日や夜 間に対応 してくれ る医療機 関がない	通院のた めの介助 者が確保 しにくい	通院のた めの交通 機関が整 備されて いない	医療機関 がバリア フリー化 されてい ない
件 数	776	125	65	60	44	41	12
%	100.0	16.1	8.4	7.7	5.7	5.3	1.5

	気軽に相 談できる 場がない	治療の説 明が十分 理解でき ない	医療費の 負担が大 きい	障害が理 由で医療 拒否され たことが ある	特にない	その他	無回答
件 数	84	44	115	25	371	40	62
%	10.8	5.7	14.8	3.2	47.8	5.2	8.0

年齢別では「特にない」が多いものの、50歳以降では2番目に「医療費の負担」をあげる人が多くなっています。

手帳別では、身体障害者で「医療費の負担」や「医療機関が家の近くにない」が多く、精神障害者では「気軽に相談できる場がない」が多くなっています。

■表頭：【Q9】あなたには、医療に関して困っていることがありますか。

(上段：件数、下段：横%)

年齢別	合計	医療機関が家の近くにない	障害についての専門の医療	休日や夜間に対応してくれ	通院のための介護者が確保	通院のための交通機関が整	医療機関がバリアフリー化	気軽に相談できる場がない	治療の説明が十分理解でき	医療費の負担が大	障害が理由で医療拒否され	特にない	その他	無回答
全体	769 100.0	122 15.9	62 8.1	58 7.5	43 5.6	40 5.2	12 1.6	82 10.7	43 5.6	114 14.8	25 3.3	370 48.1	40 5.2	61 7.9
30歳未満	52 100.0	11 21.2	10 19.2	3 5.8	4 7.7	2 3.8		7 13.5	6 11.5	5 9.6	4 7.7	19 36.5	4 7.7	3 5.8
30～39歳	58 100.0	9 15.5	6 10.3	5 8.6	4 6.9	2 3.4	1 1.7	11 19.0	7 12.1	5 8.6	3 5.2	27 46.6	4 6.9	4 6.9
40～49歳	114 100.0	23 20.2	10 8.8	14 12.3	6 5.3	8 7.0	1 0.9	18 15.8	3 2.6	17 14.9	6 5.3	54 47.4	9 7.9	5 4.4
50～59歳	89 100.0	13 14.6	12 13.5	7 7.9	5 5.6	6 6.7	2 2.2	14 15.7	8 9.0	26 29.2	3 3.4	34 38.2	3 3.4	3 3.4
60～64歳	54 100.0	6 11.1	2 3.7	2 3.7	3 5.6		1 1.9	3 5.6	1 1.9	8 14.8	3 5.6	25 46.3	4 7.4	7 13.0
65～74歳	177 100.0	27 15.3	7 4.0	11 6.2	7 4.0	4 2.3	2 1.1	11 6.2	8 4.5	19 10.7	3 1.7	103 58.2	5 2.8	15 8.5
75歳以上	225 100.0	33 14.7	15 6.7	16 7.1	14 6.2	18 8.0	5 2.2	18 8.0	10 4.4	34 15.1	3 1.3	108 48.0	11 4.9	24 10.7
手帳別														
身体障害者手帳	529 100.0	77 14.6	44 8.3	38 7.2	29 5.5	28 5.3	10 1.9	43 8.1	24 4.5	77 14.6	15 2.8	269 50.9	25 4.7	44 8.3
愛の手帳	103 100.0	16 15.5	12 11.7	8 7.8	11 10.7	2 1.9	1 1.0	12 11.7	9 8.7	11 10.7	6 5.8	44 42.7	10 9.7	10 9.7
精神障害者保健福祉手帳	126 100.0	25 19.8	11 8.7	16 12.7	9 7.1	7 5.6	1 0.8	28 22.2	11 8.7	20 15.9	4 3.2	52 41.3	11 8.7	4 3.2
発達障害の診断を受けてい	16 100.0	4 25.0	5 31.3	2 12.5	1 6.3	1 6.3		4 25.0	3 18.8			6 37.5	1 6.3	2 12.5
難病(特定疾患)の診断を	78 100.0	19 24.4	5 6.4	7 9.0	5 6.4	8 10.3	1 1.3	7 9.0	5 6.4	18 23.1	3 3.8	31 39.7	1 1.3	3 3.8

(3) 家族・介助について

① 現在の暮らし方 (問10)

現在の暮らし方は「家族と同居している」が72.0%と最も多く、ついで「ひとり暮らしをしている」が16.8%となっています。

■【Q10】あなたは現在、どのように暮らしていますか。 <SA>

	全 体	家族と同居している	ひとり暮らしをしている	グループホームなどに入居している	施設に入所している	その他	無回答
件 数	776	559	130	16	42	9	20
%	100.0	72.0	16.8	2.1	5.4	1.2	2.6

② 世帯の収入 (問11)

世帯のなかで一番多い収入は「年金・手当」が53.0%と最も多く、ついで「ご家族の給与・賃金・工賃」が21.8%となっています。

一番多い収入以外では、「年金・手当」が35.6%と最も多く、ついで「特にない」が30.5%となっています。

■【Q11-1】あなたの世帯の一番多い収入は何ですか。 <SA>

	全 体	あなた自身の給与・賃金・工賃	ご家族の給与・賃金・工賃	事業収入(自営業など)	年金・手当	生活保護	その他	無回答
件 数	776	83	169	25	411	48	15	25
%	100.0	10.7	21.8	3.2	53.0	6.2	1.9	3.2

■【Q11-2】あなたの世帯では問11-1以外にどのような収入がありますか。 <MA>

	全 体	あなた自身の給与・賃金・工賃	ご家族の給与・賃金・工賃	事業収入(自営業など)	年金・手当	生活保護	その他	特にない	無回答
件 数	776	136	103	20	276	25	7	237	74
%	100.0	17.5	13.3	2.6	35.6	3.2	0.9	30.5	9.5

③ 日常生活における介助（問12）

日常生活において介助が必要なことでは「外出する」29.3%や「食事をつくる」29.0%、「掃除をする」28.5%などが多く挙げられています。

また、「介助は必要としていない」は43.8%で、「介助は必要としていない」と「無回答」を除く49.6%が日常生活において何らかの介助を必要としています。

■ 【Q12】 あなたは次のような日常生活に、介助を必要としていますか。 <MA>

	全 体	食事をす る	排せつを する	着替えを する	入浴する	掃除をす る	洗濯をす る
件 数	776	86	83	106	158	221	203
%	100.0	11.1	10.7	13.7	20.4	28.5	26.2

	食事をつ くる	家の中で 移動する	外出する	コミュニ ケーショ ンをとる	薬を飲ん だり管理 する	お金を管 理する	日常生活 に必要な ことを判 断したり、 決めたり する
件 数	225	77	227	132	161	196	185
%	29.0	9.9	29.3	17.0	20.7	25.3	23.8

	介助は必 要として いない	その他	無回答
件 数	340	31	51
%	43.8	4.0	6.6

ねんれいべつ てちょうべつ さいみまん だい ちてきしょうがいしゃ せいしんしょうがいしゃ かね かんり
年齢別・手帳別では、30歳未満や30代、知的障害者や精神障害者で「お金の管理」
や「生活に必要なことの判断・決断」への介助要望が高くなっています。
50代以降になると「掃除をする」や「食事をつくる」、「外出する」などがやや多くなっています。

■表頭：【Q12】あなたは次のような日常生活に、介助を必要としますか。
 (上段：件数、下段：横%)

	合計	食事をす る	排せつを する	着替えを する	入浴する	掃除をす る	洗濯をす る	食事をつ くる	家の中で 移動する	外出する	コミュニ ケーション をとる	薬を飲ん だり管理 する	お金を管 理する	日常生活 に必要な ことを判 断	介助は必 要として いない	その他	無回答
年齢別																	
全体	769 100.0	86 11.2	83 10.8	106 13.8	158 20.5	220 28.6	201 26.1	222 28.9	77 10.0	225 29.3	132 17.2	161 20.9	195 25.4	184 23.9	337 43.8	31 4.0	51 6.6
30歳未満	52 100.0	11 21.2	13 25.0	14 26.9	18 34.6	23 44.2	24 46.2	25 48.1	9 17.3	24 46.2	19 36.5	26 50.0	30 57.7	28 53.8	19 36.5	1 1.9	2 3.8
30～39歳	58 100.0	6 10.3	5 8.6	4 6.9	9 15.5	16 27.6	16 27.6	21 36.2	4 6.9	20 34.5	17 29.3	18 31.0	26 44.8	25 43.1	18 31.0	2 3.4	2 3.4
40～49歳	114 100.0	9 7.9	10 8.8	10 8.8	14 12.3	29 25.4	25 21.9	28 24.6	5 4.4	29 25.4	17 14.9	21 18.4	36 31.6	36 31.6	51 44.7	4 3.5	4 3.5
50～59歳	89 100.0	10 11.2	6 6.7	8 9.0	11 12.4	20 22.5	15 16.9	18 20.2	4 4.5	16 18.0	12 13.5	7 7.9	12 13.5	16 18.0	47 52.8	5 5.6	5 5.6
60～64歳	54 100.0	9 16.7	4 7.4	10 18.5	13 24.1	15 27.8	14 25.9	18 33.3	4 7.4	13 24.1	8 14.8	14 25.9	14 25.9	11 20.4	28 51.9		3 5.6
65～74歳	177 100.0	18 10.2	15 8.5	27 15.3	38 21.5	38 21.5	40 22.6	44 24.9	21 11.9	47 26.6	25 14.1	31 17.5	29 16.4	23 13.0	81 45.8	8 4.5	18 10.2
75歳以上	225 100.0	23 10.2	30 13.3	33 14.7	55 24.4	79 35.1	67 29.8	68 30.2	30 13.3	76 33.8	34 15.1	44 19.6	48 21.3	45 20.0	93 41.3	11 4.9	17 7.6
手帳別																	
身体障害 者手帳	529 100.0	70 13.2	69 13.0	89 16.8	127 24.0	152 28.7	140 26.5	147 27.8	67 12.7	160 30.2	80 15.1	99 18.7	109 20.6	91 17.2	241 45.6	26 4.9	38 7.2
愛の手帳	103 100.0	26 25.2	30 29.1	29 28.2	40 38.8	54 52.4	54 52.4	61 59.2	20 19.4	61 59.2	50 48.5	61 59.2	81 78.6	73 70.9	7 6.8	3 2.9	4 3.9
精神障害 者保健福 祉手帳	126 100.0	11 8.7	5 4.0	9 7.1	16 12.7	35 27.8	29 23.0	40 31.7	8 6.3	33 26.2	25 19.8	27 21.4	40 31.7	50 39.7	46 36.5	3 2.4	6 4.8
発達障害 の診断を 受けてい	16 100.0	2 12.5	1 6.3		3 18.8	5 31.3	6 37.5	7 43.8	1 6.3	7 43.8	5 31.3	6 37.5	7 43.8	9 56.3	3 18.8	1 6.3	2 12.5
難病（特 定疾患） の診断を	78 100.0	9 11.5	6 7.7	9 11.5	17 21.8	19 24.4	19 24.4	22 28.2	8 10.3	22 28.2	10 12.8	12 15.4	12 15.4	8 10.3	42 53.8	7 9.0	3 3.8

④ 主な介助者（問13）

主な介助者は「配偶者」が20.7%と最も多く、ついで「母親」が10.4%となっています。

■ 【Q13】 あなたを介助しているのは、主にどなたですか。 <SA>

	全体	母親	父親	配偶者	兄弟姉妹	子ども
件数	776	81	10	161	18	47
%	100.0	10.4	1.3	20.7	2.3	6.1

	その他親族	ホームヘルパー	施設などの職員	介助は必要としていない	その他	無回答
件数	7	33	54	294	11	60
%	0.9	4.3	7.0	37.9	1.4	7.7

⑤ 介助者が困っていること（問14）

介助者が困っていることでは「将来の見通しに不安がある」が49.7%と最も多く、ついで「介助者自身の健康に不安がある」が41.7%となっています。

■ 【Q14】（家族介護） 介助者が困っていること <MA> 《非該当：452件 を除く》

	全体	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	かわりの介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある
件数	324	135	87	114	69	81	102
%	100.0	41.7	26.9	35.2	21.3	25.0	31.5

	長期の旅行や外出ができない	将来の見通しに不安がある	特にない	その他	無回答
件数	117	161	35	9	22
%	36.1	49.7	10.8	2.8	6.8

⑥ 主な介護者の介護が受けられない時希望する対応 (問15)

主な介護者の介護が受けられない時希望する対応としては「ホームヘルパーを利用したい」が31.2%と最も多く、ついで「ショートステイを利用したい」が29.3%となっています。

■ 【Q15】 (家族介護) 主な介護者の介護が受けられない時希望する対応 <MA>

《非該当：452件 を除く》

	全 体	同居の家族に介護してほしい	別居の親族に介護してほしい	ホームヘルパーを利用したい	ショートステイを利用したい	民間の有償介護サービスを利用したい	グループホームなどに入居したい
件 数	324	71	40	101	95	25	46
%	100.0	21.9	12.3	31.2	29.3	7.7	14.2

	施設に入所したい	病院に入院したい	わからない	その他	無回答
件 数	71	33	56	11	23
%	21.9	10.2	17.3	3.4	7.1

ねんれいべつ てちょうべつ さいみまん ちてきしょうがいしゃ
 年齢別・手帳別では、30歳未満や知的障害者で「ショートステイ」や「グループ
 ホームなどへ入居」を希望する人が多くなっています。
 だいいこう しんたいしょうがいしゃ りょうきぼう おお
 50代以降や身体障害者では「ホームヘルパー」の利用希望が多くなっています。

■表頭：【Q15】（家族介護）主な介助者の介助が受けられない時希望する対応《非該当：452件を除く》
 （上段：件数、下段：横%）

年齢別	合計	同居の家族に介助してほし	別居の親族に介助してほし	ホームヘルパーを利用した	ショートステイを利用した	民間の有償介助サービスを利用した	グループホームなどに入居	施設に入所したい	病院に入院したい	わからない	その他	無回答
全体	321 100.0	70 21.8	39 12.1	101 31.5	95 29.6	25 7.8	46 14.3	71 22.1	33 10.3	56 17.4	11 3.4	22 6.9
30歳未満	30 100.0	13 43.3	3 10.0	14 46.7	19 63.3	3 10.0	14 46.7	10 33.3	1 3.3	3 10.0		1 3.3
30～39歳	27 100.0	9 33.3	5 18.5	3 11.1	8 29.6	1 3.7	7 25.9	5 18.5	2 7.4	5 18.5		1 3.7
40～49歳	46 100.0	10 21.7	4 8.7	6 13.0	10 21.7	2 4.3	9 19.6	11 23.9	4 8.7	16 34.8	2 4.3	2 4.3
50～59歳	25 100.0	5 20.0	5 20.0	8 32.0	6 24.0	2 8.0	3 12.0	3 12.0	4 16.0	7 28.0		
60～64歳	19 100.0	5 26.3	1 5.3	7 36.8	6 31.6		1 5.3	5 26.3	4 21.1	3 15.8	1 5.3	1 5.3
65～74歳	67 100.0	5 7.5	4 6.0	25 37.3	21 31.3	7 10.4	6 9.0	16 23.9	7 10.4	12 17.9	2 3.0	5 7.5
75歳以上	107 100.0	23 21.5	17 15.9	38 35.5	25 23.4	10 9.3	6 5.6	21 19.6	11 10.3	10 9.3	6 5.6	12 11.2
手帳別												
身体障害者手帳	221 100.0	46 20.8	31 14.0	78 35.3	67 30.3	21 9.5	22 10.0	51 23.1	23 10.4	31 14.0	7 3.2	18 8.1
愛の手帳	66 100.0	23 34.8	5 7.6	17 25.8	35 53.0	4 6.1	26 39.4	20 30.3	3 4.5	8 12.1	1 1.5	3 4.5
精神障害者保健福祉手帳	56 100.0	9 16.1	5 8.9	12 21.4	12 21.4	2 3.6	8 14.3	9 16.1	10 17.9	19 33.9	3 5.4	1 1.8
発達障害の診断を受けていない	9 100.0	4 44.4	2 22.2	2 22.2	2 22.2	2 22.2		1 11.1	1 11.1	3 33.3		
難病（特定疾患）の診断を受けていない	33 100.0	4 12.1	4 12.1	11 33.3	10 30.3	3 9.1	1 3.0	6 18.2	9 27.3	5 15.2		1 3.0

(4) 日常生活について

① 自由時間の過ごし方 (問16)

自由時間の過ごし方では「テレビ・ラジオ」が63.7%と最も多く、ついで「家族との団らん」36.3%や「買い物」36.0%などが多く挙げられています。

■【Q16】あなたは普段、自由時間に何をしていますか。 <MA>

	全体	家族との団らん	友人・知人との交流	趣味活動・遊び	スポーツ・運動・レクリエーション	買い物	地域の活動
件数	776	282	225	259	111	279	41
%	100.0	36.3	29.0	33.4	14.3	36.0	5.3

	障害者団体などの活動	テレビ・ラジオ	特になし	その他	無回答
件数	29	494	78	74	16
%	3.7	63.7	10.1	9.5	2.1

② 近所づきあいの状況 (問17)

近所づきあいの状況は「会えばあいさつをする程度」が28.2%と最も多く、ついで「ほとんどつきあいはない」が25.4%となっています。

■【Q17】あなたは普段、近所の人とどの程度のおつきあいをしていますか。 <SA>

	全体	親しくつきあっている	たまに世間話をする程度	会えばあいさつをする程度	ほとんどつきあいはない	無回答
件数	776	85	149	324	197	21
%	100.0	11.0	19.2	41.8	25.4	2.7

③ 日常生活で困っていること (問18)

日常生活で困っていることでは「将来に不安がある」が46.1%と最も多く、ついで「健康状態に不安がある」37.9%、「経済的に不安がある」32.9%などとなっています。

■ 【Q18】 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。 <MA>

	全 体	身の回りのことが十分できない	健康状態に不安がある	住まいについて困っている	外出について困っている	緊急時の対応に不安がある	就労について困っている
件 数	776	176	294	64	134	224	79
%	100.0	22.7	37.9	8.2	17.3	28.9	10.2

	利用できる日中活動の場がないので困っている	余暇活動や遊ぶことが十分にできない	スポーツ・運動・レクリエーションが十分できない	経済的に不安がある	将来に不安がある	どうしてもわからないことがある	特にない
件 数	29	96	136	255	358	128	162
%	3.7	12.4	17.5	32.9	46.1	16.5	20.9

	その他	無回答
件 数	27	37
%	3.5	4.8

年齢別では、ほとんどの年代で「将来に不安がある」が最も多く、ついで「経済的不安」が多くなっています。高齢になると「健康状態が不安」が多くなる傾向がみられます。

手帳別では、身体障害者で「健康状態」、知的障害者で「緊急時の対応」、精神障害者で「経済的不安」が多くみられます。

■表頭：[Q18]あなたには、日常生活で困っていることはありますか。
(上段：件数、下段：横%)

年齢別	合計	身の回りのことが 十分でき	健康状態に不安がある	住まいについて困っている	外出について困っている	緊急時の対応に不安がある	就労について困っている	利用できる日中活動の場が	余暇活動や遊ぶことが十分	スポーツ・運動・レクリエ	経済的に不安がある	将来に不安がある	どうしてよいかわからない	特にない	その他	無回答
全体	769 100.0	174 22.6	292 38.0	64 8.3	133 17.3	222 28.9	79 10.3	29 3.8	96 12.5	136 17.7	255 33.2	358 46.6	127 16.5	160 20.8	26 3.4	36 4.7
30歳未満	52 100.0	20 38.5	15 28.8	5 9.6	14 26.9	22 42.3	12 23.1	5 9.6	9 17.3	16 30.8	19 36.5	38 73.1	15 28.8	9 17.3	3 5.8	1 1.9
30～39歳	58 100.0	10 17.2	22 37.9	9 15.5	11 19.0	20 34.5	19 32.8	4 6.9	12 20.7	10 17.2	26 44.8	43 74.1	19 32.8	8 13.8	3 5.2	1 1.7
40～49歳	114 100.0	21 18.4	45 39.5	7 6.1	16 14.0	36 31.6	28 24.6	4 3.5	15 13.2	14 12.3	50 43.9	72 63.2	27 23.7	17 14.9	3 2.6	3 2.6
50～59歳	89 100.0	16 18.0	35 39.3	16 18.0	12 13.5	29 32.6	13 14.6	3 3.4	7 7.9	16 18.0	40 44.9	44 49.4	11 12.4	17 19.1	3 3.4	4 4.5
60～64歳	54 100.0	13 24.1	22 40.7	9 16.7	8 14.8	12 22.2	4 7.4	3 5.6	6 11.1	10 18.5	23 42.6	30 55.6	8 14.8	11 20.4	1 1.9	4 7.4
65～74歳	177 100.0	40 22.6	57 32.2	11 6.2	30 16.9	46 26.0	2 1.1	6 3.4	19 10.7	27 15.3	47 26.6	65 36.7	16 9.0	51 28.8	4 2.3	7 4.0
75歳以上	225 100.0	54 24.0	96 42.7	7 3.1	42 18.7	57 25.3	1 0.4	4 1.8	28 12.4	43 19.1	50 22.2	66 29.3	31 13.8	47 20.9	9 4.0	16 7.1
手帳別																
身体障害者手帳	529 100.0	125 23.6	196 37.1	37 7.0	94 17.8	151 28.5	28 5.3	17 3.2	62 11.7	98 18.5	140 26.5	200 37.8	67 12.7	124 23.4	15 2.8	28 5.3
愛の手帳	103 100.0	39 37.9	33 32.0	6 5.8	26 25.2	44 42.7	10 9.7	7 6.8	17 16.5	21 20.4	30 29.1	58 56.3	22 21.4	15 14.6	4 3.9	7 6.8
精神障害者保健福祉手帳	126 100.0	29 23.0	66 52.4	20 15.9	25 19.8	47 37.3	36 28.6	9 7.1	24 19.0	22 17.5	75 59.5	101 80.2	48 38.1	7 5.6	7 5.6	2 1.6
発達障害の診断を受けてい	16 100.0	5 31.3	6 37.5	3 18.8	3 18.8	7 43.8	5 31.3	3 18.8	6 37.5	5 31.3	11 68.8	14 87.5	9 56.3		2 12.5	1 6.3
難病(特定疾患)の診断を	78 100.0	17 21.8	35 44.9	11 14.1	14 17.9	19 24.4	15 19.2	5 6.4	10 12.8	15 19.2	35 44.9	42 53.8	12 15.4	12 15.4	2 2.6	

④ ④ 困りごとの相談相手 (問19)

困りごとの相談相手は「同居の家族」が58.5%と最も多く、ついで「別居の家族・親族」が28.1%となっています。

■ 【Q19】 あなたは普段、困ったときに誰に相談していますか。 <MA>

	全 体	同居の家 族	別居の家 族・親族	友人・知 人(障害 者)	友人・知 人(健常 者)	近所の人	市のケー スワーカ ー
件 数	776	454	218	49	121	26	36
%	100.0	58.5	28.1	6.3	15.6	3.4	4.6

	ホームヘ ルパー	福祉施設 の職員	医療関係 者	民生委 員・児童 委員	身体障害 者相談 員・知的 障害者相 談員	相談支援 事業所	保健所・ 保健セン ター
件 数	34	96	162	13	7	30	12
%	4.4	12.4	20.9	1.7	0.9	3.9	1.5

	難病相 談・支援 センター	障害者団 体・患者 会	特にな い	その他	無回答
件 数	5	13	66	40	23
%	0.6	1.7	8.5	5.2	3.0

⑤ 福祉サービスなどの情報の入手先 (問20)

福祉に関する情報の入手先は「広報『はちおうじ』」が44.5%と最も多く、ついで「医療機関」19.2%、「市役所」18.9%などとなっています。

一方、「特にない」との回答も19.7%みられます。

■ 【Q20】 あなたは、福祉サービスなどの情報を、主にどこから入手していますか。 <MA>

	全 体	広報「はちおうじ」	東京都広報	市のパンフレットなど	市のホームページ	その他のホームページ	テレビ・ラジオ
件 数	776	345	67	92	46	23	84
%	100.0	44.5	8.6	11.9	5.9	3.0	10.8

	新聞・書籍	SNS	市役所	医療機関	福祉施設	相談支援事業所	保健所・保健センター
件 数	69	18	147	149	61	57	16
%	8.9	2.3	18.9	19.2	7.9	7.3	2.1

	難病相談・支援センター	障害者団体・患者会	友人や知人	特にない	その他	無回答
件 数	9	24	76	153	28	28
%	1.2	3.1	9.8	19.7	3.6	3.6

⑥ サービス利用に関して困っていること（問21）

サービス利用に関して困っていることでは「サービスに関する情報が少ない」が22.2%と最も多く、ついで「サービス利用の手続きが大変」16.0%、「誰に相談すればよいかわからない」14.6%などとなっています。

なお、「特にない」は44.2%で、「特にない」と「無回答」を除く46.4%は何らかの困りごとがあると回答しています。

■【Q21】あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。 <MA>

	全 体	サービスに関する情報が少ない	サービス利用の手続きが大変	利用したいサービスを利用できない	利用できる回数や日数が少ない	希望に合った事業者が見つからない	サービスの質が良くない
件 数	776	172	124	48	45	36	21
%	100.0	22.2	16.0	6.2	5.8	4.6	2.7

	自分に必要なサービスがない	誰に相談すればよいかわからない	特にない	その他	無回答
件 数	58	113	343	35	73
%	7.5	14.6	44.2	4.5	9.4

(5) 災害について

① 災害時に不安を感じることに（問22）

災害時に不安を感じることは「薬や医療的ケアを確保できるか不安」が51.9%と最も多く、ついで「ひとりでは避難できない」が36.9%となっています。

なお、「特にない」は17.9%で、「特にない」と「無回答」を除いた残りの約8割は何らかの不安を感じると回答しています。

■【Q22】災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。 <MA>

	全体	ひとりでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	近所に助けしてくれる人がいないことが不安	自宅や避難所で必要な介助や支援を受けられるか不安	災害についての情報を得るのが難しい	通勤や通学、通所の途中で災害にあった場合の対応がわからない
件数	776	286	154	131	223	135	111
%	100.0	36.9	19.8	16.9	28.7	17.4	14.3

	避難の仕方や、避難する場所がわからない	避難所の設備が障害に対応しているのか不安	避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	薬や医療的ケアを確保できるか不安	特にない	その他	無回答
件数	158	213	199	403	139	25	27
%	20.4	27.4	25.6	51.9	17.9	3.2	3.5

年齢別では、すべての年代で「薬や医療的ケアの確保」への不安が多く、「ひとりでは避難できない」ことへの不安も多くなっています。

手帳別では、知的障害者では「ひとりで避難できない」ことや「自分で助けを呼べない」ことへの不安が多くなっています。

■表頭：【Q22】あなたは地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。

(上段：件数、下段：横%)

年齢別	合計	ひとりでは避難できない	自分では助けを呼ぶことが	近所に助けを呼んでくれる人がい	自宅や避難所で必要な介助	災害についての情報を得る	通勤や通学、通所の途中で	避難の仕方や、避難する場	避難所の設備が障害に対応	避難所で他の人と一緒に過	薬や医療的ケアを確保でき	特にな	その他	無回答
全体	769 100.0	283 36.8	154 20.0	131 17.0	222 28.9	135 17.6	111 14.4	155 20.2	213 27.7	197 25.6	403 52.4	138 17.9	25 3.3	25 3.3
30歳未満	52 100.0	28 53.8	19 36.5	16 30.8	24 46.2	18 34.6	21 40.4	16 30.8	15 28.8	21 40.4	30 57.7	7 13.5	3 5.8	1 1.9
30～39歳	58 100.0	20 34.5	12 20.7	12 20.7	24 41.4	13 22.4	12 20.7	11 19.0	23 39.7	24 41.4	37 63.8	6 10.3	3 5.2	
40～49歳	114 100.0	38 33.3	24 21.1	19 16.7	27 23.7	25 21.9	26 22.8	22 19.3	30 26.3	40 35.1	68 59.6	15 13.2	2 1.8	1 0.9
50～59歳	89 100.0	25 28.1	16 18.0	14 15.7	17 19.1	15 16.9	16 18.0	21 23.6	19 21.3	22 24.7	52 58.4	13 14.6	5 5.6	1 1.1
60～64歳	54 100.0	14 25.9	11 20.4	8 14.8	10 18.5	5 9.3	6 11.1	13 24.1	12 22.2	7 13.0	32 59.3	9 16.7	4 7.4	3 5.6
65～74歳	177 100.0	64 36.2	26 14.7	28 15.8	44 24.9	20 11.3	16 9.0	21 11.9	46 26.0	32 18.1	80 45.2	42 23.7	6 3.4	8 4.5
75歳以上	225 100.0	94 41.8	46 20.4	34 15.1	76 33.8	39 17.3	14 6.2	51 22.7	68 30.2	51 22.7	104 46.2	46 20.4	2 0.9	11 4.9
手帳別														
身体障害者手帳	529 100.0	209 39.5	103 19.5	84 15.9	160 30.2	80 15.1	61 11.5	99 18.7	163 30.8	117 22.1	252 47.6	108 20.4	16 3.0	20 3.8
愛の手帳	103 100.0	73 70.9	49 47.6	28 27.2	46 44.7	37 35.9	36 35.0	34 33.0	38 36.9	45 43.7	49 47.6	8 7.8	5 4.9	3 2.9
精神障害者保健福祉手帳	126 100.0	36 28.6	24 19.0	32 25.4	37 29.4	28 22.2	26 20.6	31 24.6	31 24.6	56 44.4	88 69.8	13 10.3	5 4.0	2 1.6
発達障害の診断を受けてい	16 100.0	8 50.0	5 31.3	4 25.0	7 43.8	7 43.8	7 43.8	4 25.0	5 31.3	7 43.8	6 37.5	1 6.3	2 12.5	1 6.3
難病（特定疾患）の診断を	78 100.0	22 28.2	13 16.7	9 11.5	21 26.9	15 19.2	13 16.7	12 15.4	20 25.6	17 21.8	58 74.4	4 5.1	3 3.8	

② 災害時に必要とする支援（問23）

災害時に必要とする支援は「薬や医療的ケアの確保」が59.7%と最も多く、ついで「障害に対応した避難所の確保」が38.5%となっています。

■【Q23】あなたは、災害のときにどのような支援が必要だと思いますか。 <MA>

	全 体	障害に応じた災害情報の伝達	見守りや安否の確認	避難のための介助や支援	自宅や避難所での介助や支援	障害に対応した避難所の確保	薬や医療的ケアの確保
件 数	776	218	197	255	251	299	463
%	100.0	28.1	25.4	32.9	32.3	38.5	59.7

	特にない	その他	無回答
件 数	86	13	26
%	11.1	1.7	3.4

年齢別でも、すべての年代で「薬や医療的ケアの確保」や「障害に対応した避難所の確保」が特に必要とされています。75歳以上では、「避難のための介助や支援」への要望も高くなっています。

手帳別では、知的障害者では「障害に対応した避難所の確保」や「自宅や避難所での介助や支援」への要望が高くなっています。また、精神障害者や難病患者などでは「薬や医療的ケアの確保」を希望する人の割合が7割、8割と特に高くなっています。

■表頭：【Q23】あなたは、災害のときにどのような支援が必要だと思いますか。

(上段：件数、下段：横%)

	合計	障害に応じた災害情報の伝	見守りや安否の確認	避難のための介助や支援	自宅や避難所での介助や支	障害に対応した避難所の確	薬や医療的ケアの確保	特にない	その他	無回答
年齢別										
全体	769 100.0	217 28.2	196 25.5	252 32.8	250 32.5	298 38.8	459 59.7	86 11.2	12 1.6	24 3.1
30歳未満	52 100.0	17 32.7	22 42.3	21 40.4	22 42.3	26 50.0	27 51.9	3 5.8	1 1.9	5 9.6
30～39歳	58 100.0	19 32.8	18 31.0	15 25.9	19 32.8	30 51.7	40 69.0	6 10.3	2 3.4	
40～49歳	114 100.0	27 23.7	34 29.8	30 26.3	28 24.6	43 37.7	69 60.5	14 12.3	1 0.9	1 0.9
50～59歳	89 100.0	30 33.7	19 21.3	25 28.1	29 32.6	37 41.6	57 64.0	5 5.6	1 1.1	1 1.1
60～64歳	54 100.0	8 14.8	8 14.8	10 18.5	13 24.1	19 35.2	32 59.3	3 5.6	1 1.9	4 7.4
65～74歳	177 100.0	49 27.7	40 22.6	58 32.8	56 31.6	63 35.6	99 55.9	30 16.9	2 1.1	3 1.7
75歳以上	225 100.0	67 29.8	55 24.4	93 41.3	83 36.9	80 35.6	135 60.0	25 11.1	4 1.8	10 4.4
手帳別										
身体障害者手帳	529 100.0	157 29.7	118 22.3	191 36.1	184 34.8	217 41.0	307 58.0	66 12.5	6 1.1	15 2.8
愛の手帳	103 100.0	39 37.9	44 42.7	46 44.7	50 48.5	54 52.4	47 45.6	8 7.8	5 4.9	7 6.8
精神障害者保健福祉手帳	126 100.0	30 23.8	40 31.7	32 25.4	36 28.6	46 36.5	91 72.2	8 6.3	3 2.4	2 1.6
発達障害の診断を受けてい	16 100.0	6 37.5	10 62.5	6 37.5	6 37.5	8 50.0	5 31.3	1 6.3	1 6.3	1 6.3
難病（特定疾患）の診断を	78 100.0	20 25.6	19 24.4	23 29.5	24 30.8	35 44.9	63 80.8	3 3.8	2 2.6	1 1.3

(6) 住まいについて

① 住まいの状況 (問24)

住まいの状況は「持ち家(一戸建て)」が52.7%と最も多く、ついで「持ち家(集合住宅)」が13.8%となっており、両者を合わせた「持ち家」の割合は66.5%となっています。

■ 【Q24】あなたのお住まいをお聞きします。 <SA>

	全 体	持ち家 (一戸建 て)	持ち家 (集合住 宅)	民間賃貸 住宅(一 戸建て)	民間賃貸 住宅(集 合住宅)	公営住宅 (都営・ 市営)	公社・公 団賃貸住 宅
件 数	776	409	107	16	81	57	30
%	100.0	52.7	13.8	2.1	10.4	7.3	3.9

	グループホ ームなど	入所施設	その他	無回答
件 数	16	35	6	19
%	2.1	4.5	0.8	2.4

② 住宅に関する困りごと（問25）

住宅に関して困っていることは「階段の昇り降り」が17.9%と最も多く、ついで「建物の老朽化」が17.4%となっています。

なお、「特になく、満足している」は42.7%で、「特になく、満足している」と「無回答」を除く50.9%が何らかの困りごとがあると回答しています。

■ 【Q25】 あなたには、住宅に関して困っていることがありますか。 <MA>

	全 体	階段の昇り降り	玄関・出入口の段差	入り口の廊下が狭い	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化
件 数	776	139	105	41	81	39	135
%	100.0	17.9	13.5	5.3	10.4	5.0	17.4

	家賃など住宅費の負担	住宅を借りるのが難しい	特になく、満足している	その他	無回答
件 数	84	28	331	45	50
%	10.8	3.6	42.7	5.8	6.4

③ 住宅に関して行政が今後取り組むべきこと（問26）

住宅に関して行政が今後取り組むべきことでは「住宅改修費の助成を充実する」が30.3%と最も多く、ついで「家賃の助成をする」が23.5%となっています。

なお、「特にない」は24.5%となっています。

■【Q26】あなたは、住宅に関して行政が今後どのような取り組みをする必要があると思いますか。

<MA>

	全 体	住宅改修費の助成を充実する	公営住宅を障害者が利用しやすくする	公営住宅の入居の優先枠を拡充する	障害者向け住宅の整備を促進する
件 数	776	235	154	156	171
%	100.0	30.3	19.8	20.1	22.0

	単身者向け住宅の整備を促進する	グループホームなどの整備を促進する	家賃の助成をする	特にない	その他	無回答
件 数	101	125	182	190	18	72
%	13.0	16.1	23.5	24.5	2.3	9.3

(7) 外出について

① 外出する頻度 (問27)

外出する頻度は「ほとんど毎日」が32.0%と最も多く、ついで「週に3～5日くらい」が29.3%となっています。

一方、「あまり外出しない」は10.6%となっています。

■【Q27】あなたは普段、どのくらいの頻度で外出していますか。 <SA>

	全体	ほとんど毎日	週に3～5日くらい	週に1～2日くらい	月に1～3日くらい	あまり外出しない	無回答
件数	776	248	227	137	59	82	23
%	100.0	32.0	29.3	17.7	7.6	10.6	3.0

② 外出の目的 (問28)

外出の目的は「買い物」が59.3%と最も多く、ついで「通院」が57.0%となっています。

■【Q28】あなたは普段、どのような目的で外出しますか。 <MA>

	全体	通勤	通学	施設への通所	通院	訓練・リハビリ	買い物
件数	776	162	9	136	442	104	460
%	100.0	20.9	1.2	17.5	57.0	13.4	59.3

	趣味活動・遊び	スポーツ・運動・レクリエーション	人との交流(人づきあい)	旅行	あまり外出しない	その他	無回答
件数	204	102	174	83	66	50	16
%	26.3	13.1	22.4	10.7	8.5	6.4	2.1

③ 移動手段 (問29)

移動手段は「徒歩」が51.4%と最も多く、ついで「路線バス」45.9%や「電車」43.6%、などの公共交通機関が多くなっています。

■ 【Q29】あなたは普段、どのような移動手段を利用していますか。 <MA>

	全 体	徒 歩	車いす	電動車い す	自転車	オートバ イ	自動車 (自分で 運転)
件 数	776	399	76	15	109	23	180
%	100.0	51.4	9.8	1.9	14.0	3.0	23.2

	自動車 (自分以 外が運 転)	電車	路線バス	一般のタ クシー	リフト付 きタクシ ー	市のリフ ト付き自 動車(わ かこま 号)	あまり外 出しない
件 数	255	338	356	137	16	6	42
%	32.9	43.6	45.9	17.7	2.1	0.8	5.4

	その他	無回答
件 数	14	20
%	1.8	2.6

④ 外出時に困ること (問30)

外出時に困ることでは「トイレの利用」が18.8%と最も多く、ついで「歩道や道路の段差や幅」18.7%、「建物の段差・階段・設備」18.0%などとなっています。

なお、「特にない」は28.6%で、「特にない」と「無回答」を除く63.3%が外出時に何かしらの困ることがあると回答しています。

■ 【Q30】 あなたは、外出するとき、どのようなことで困っていますか。 <MA>

	全 体	付き添ってくれる人がいない	歩道や道路の段差や幅	横断用の信号の時間が短い	音響式信号機の設置が十分でない	建物の段差・階段・設備	駅での移動や乗り換え	駅での券売機の利用
件 数	776	58	145	79	16	140	105	36
%	100.0	7.5	18.7	10.2	2.1	18.0	13.5	4.6

	バスやタクシーの乗り降り	電車やバス内などでのアナウンスがわかりにくい	公共交通機関が少ない	トイレの利用	休憩場所がない	障害者用駐車場の少ない	交通費の負担
件 数	51	49	34	146	103	86	115
%	6.6	6.3	4.4	18.8	13.3	11.1	14.8

	多動やこだわりのため、安全確保等が難しい	周囲の目が気になる	困ったときどうすればいいか不安	特にない	その他	無回答
件 数	24	72	131	222	37	63
%	3.1	9.3	16.9	28.6	4.8	8.1

(8) 権利擁護について

① 権利擁護の取組の認知度 (問31)

権利擁護の取組のうち「成年後見制度」は「内容を知っている」が31.8%、「名前は聞いたことがある」が34.5%で、5つの取組の中では最も認知度が高くなっています。

その他の取組はいずれも「知らない」が6～7割を占めており、「内容を知っている」が1割未満の取組も多く、認知度は非常に低くなっています。

■ 【Q31】 あなたは次のような権利擁護の取組を知っていますか。 <SA>

		全 体	内容を知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
①成年後見制度	件 数	776	247	268	219	42
	%	100.0	31.8	34.5	28.2	5.4
②地域福祉権利擁護事業	件 数	776	61	126	543	46
	%	100.0	7.9	16.2	70.0	5.9
③差別解消法	件 数	776	96	146	486	48
	%	100.0	12.4	18.8	62.6	6.2
④差別禁止条例	件 数	776	61	132	539	44
	%	100.0	7.9	17.0	69.5	5.7
⑤八王子市障害者虐待防止センター	件 数	776	57	127	528	64
	%	100.0	7.3	16.4	68.0	8.2

② 成年後見制度の利用意向 (問32)

成年後見制度の利用意向では「わからない」が57.3%と最も多く、「利用している」は2.3%にとどまっています。

今後の利用については「利用したくない」21.0%が「今後利用したい」14.3%を上回る結果となっています。

■ 【Q32】 あなたは成年後見制度を利用していますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。 <SA>

	全 体	利用している	今後利用したい	利用したくない	わからない	無回答
件 数	776	18	111	163	445	39
%	100.0	2.3	14.3	21.0	57.3	5.0

③ 地域福祉権利擁護事業 (問33)

地域福祉権利擁護事業の利用では「わからない」が66.4%と最も多く、「利用している」は2.3%にとどまっています。

今後の利用については、「今後利用したい」が14.2%、「利用したくない」が11.5%となっています。

■【Q33】あなたは地域福祉権利擁護事業を利用していますか。また、利用していない場合は、今後利用したいとおもいますか。 <SA>

	全 体	利用している	今後利用したい	利用したくない	わからない	無回答
件 数	776	18	110	89	515	44
%	100.0	2.3	14.2	11.5	66.4	5.7

④ 障害があるためにあきらめたことやできなかったこと (問34)

障害があるためにあきらめたことやできなかったことでは「旅行や外出」が34.9%と最も多く、ついで「スポーツ・運動・レクリエーション」31.2%、「人づきあい」20.1%などとなっています。

なお、「特にない」は28.2%で、「特にない」と「無回答」を除く65.9%が、あきらめたり、できなかったりしたことがあると回答しています。

■【Q34】あなたはこれまでに、障害があるためにあきらめたり、できなかったりしたことがありますか。 <MA>

	全 体	進学	就職	恋愛	結婚	出産・育児	人づきあい
件 数	776	52	143	72	89	63	156
%	100.0	6.7	18.4	9.3	11.5	8.1	20.1

	旅行や外出	おしゃれ	趣味活動・遊び	スポーツ・運動・レクリエーション	特にない	その他	無回答
件 数	271	72	153	242	219	31	46
%	34.9	9.3	19.7	31.2	28.2	4.0	5.9

ねんれいべつ てちょうべつ だい じゃくねんそう せいしんしょうがいしゃ しゅうしよく もっと おお
 年齢別・手帳別では、40代までの若年層や精神障害者では「就職」が最も多
 くなっています。また、就職以外では「旅行や外出」や「スポーツ」などが多いな
 かで、知的障害者では「結婚」や「恋愛」という回答が多くなっています。

■表頭：【Q34】あなたはこれまでに、障害があるためにあきらめたり、できなかつたことがありますか。
 (上段：件数、下段：横%)

	合計	進学	就職	恋愛	結婚	出産・育 児	人づきあ い	旅行や外 出	おしゃれ	趣味活動 ・遊び	スポーツ ・運動・ レクリエ	特にな い	その他	無回答
年齢別 全体	769 100.0	52 6.8	143 18.6	72 9.4	89 11.6	63 8.2	156 20.3	270 35.1	72 9.4	153 19.9	240 31.2	218 28.3	31 4.0	43 5.6
30歳未満	52 100.0	12 23.1	21 40.4	15 28.8	15 28.8	9 17.3	16 30.8	13 25.0	8 15.4	12 23.1	19 36.5	11 21.2	3 5.8	3 5.8
30～39歳	58 100.0	10 17.2	26 44.8	17 29.3	16 27.6	12 20.7	20 34.5	20 34.5	8 13.8	9 15.5	15 25.9	10 17.2	4 6.9	1 1.7
40～49歳	114 100.0	14 12.3	43 37.7	19 16.7	31 27.2	18 15.8	28 24.6	33 28.9	11 9.6	21 18.4	32 28.1	22 19.3	5 4.4	8 7.0
50～59歳	89 100.0	8 9.0	26 29.2	12 13.5	14 15.7	14 15.7	25 28.1	32 36.0	12 13.5	23 25.8	33 37.1	21 23.6	2 2.2	2 2.2
60～64歳	54 100.0	1 1.9	11 20.4	2 3.7	2 3.7	2 3.7	9 16.7	20 37.0	6 11.1	14 25.9	24 44.4	12 22.2	2 3.7	3 5.6
65～74歳	177 100.0	3 1.7	14 7.9	7 4.0	7 4.0	4 2.3	28 15.8	69 39.0	13 7.3	38 21.5	52 29.4	56 31.6	7 4.0	10 5.6
75歳以上	225 100.0	4 1.8	2 0.9		4 1.8	4 1.8	30 13.3	83 36.9	14 6.2	36 16.0	65 28.9	86 38.2	8 3.6	16 7.1
手帳別														
身体障害 者手帳	529 100.0	20 3.8	62 11.7	32 6.0	35 6.6	30 5.7	86 16.3	198 37.4	48 9.1	102 19.3	176 33.3	171 32.3	17 3.2	30 5.7
愛の手帳	103 100.0	23 22.3	32 31.1	30 29.1	38 36.9	17 16.5	27 26.2	28 27.2	12 11.7	16 15.5	24 23.3	20 19.4	4 3.9	11 10.7
精神障害 者保健福 祉手帳	126 100.0	18 14.3	60 47.6	23 18.3	33 26.2	22 17.5	51 40.5	45 35.7	15 11.9	35 27.8	30 23.8	15 11.9	9 7.1	4 3.2
発達障害 の診断を 受けてい	16 100.0	5 31.3	9 56.3	4 25.0	3 18.8	1 6.3	6 37.5	1 6.3	2 12.5	5 31.3	7 43.8	1 6.3	3 18.8	2 12.5
難病（特 定疾患） の診断を	78 100.0	5 6.4	14 17.9	7 9.0	5 6.4	8 10.3	11 14.1	29 37.2	11 14.1	18 23.1	26 33.3	20 25.6	4 5.1	4 5.1

⑤ 差別や人権侵害などの実感 (問35)

差別や人権侵害などを感じるかでは「まったく感じない」が45.5%と最も多く、
ついで「あまり感じない」が32.9%となっています。

『感じる』(「いつも感じる」と「ときどき感じる」の合計)と『感じない』(「あまり感じない」と「まったく感じない」の合計)の比較では、『感じる』が14.6%、『感じない』が78.4%となっています。

■【Q35】あなたや家族の方は、あなたの障害のことで差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。 <SA>

	全 体	いつも感じる	ときどき感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
件 数	776	24	89	255	353	55
%	100.0	3.1	11.5	32.9	45.5	7.1

(問36、問37 は記述式による個別事例のため割愛)

⑥ 相談制度による安心感 (問38)

相談制度による安心感では「わからない」が36.5%と最も多く、ついで「少し安心できる」27.1%や「安心できる」21.1%などとなっています。

■【Q38】あなたが差別や虐待を受けたとき、市や相談支援事業者に相談できる制度があることで、あなたは安心して暮らすことができますか。 <SA>

	全 体	安心できる	少し安心できる	安心できない	わからない	無回答
件 数	776	164	210	43	283	76
%	100.0	21.1	27.1	5.5	36.5	9.8

(9) 雇用・就労について

① 平日の日中の過ごし方 (問39)

平日の日中の過ごし方は「就労や通所などはしていない」が45.0%と最も多く、
 ついで「一般就労をしている(正職員)」が10.1%となっています。

選択肢1～4を合計した何らかの『就労している』の割合は27.9%となっています。

■ 【Q39】 あなたは平日の日中、主にどのように過ごしていますか。 <SA>

	全 体	一般就労を している (正職員)	一般就労を している (パート・ アルバイト)	福祉的就労をし ている(就労移 行・就労継続支援 事業所(作業所))	自宅で働い ている(収 入のある仕 事)	福祉的就労以 外の通所施設 (日中活動の 場)に通ってい る
件 数	776	78	68	53	17	70
%	100.0	10.1	8.8	6.8	2.2	9.0

	学校・大学に 通っている	職業訓練 中	就職活動 中	就労や通所など はしていない	その他	無回答
件 数	6	2	7	349	58	68
%	0.8	0.3	0.9	45.0	7.5	8.8

② 仕事をする上で困っていること（就労している回答者のみ・問40）

就労している人が仕事をする上で困っていることでは「給与・工賃などが少ない」が32.9%と最も多く、ついで「精神的な負担が大きい」が22.7%となっています。

なお、「特にない」は40.3%で、「特にない」と「無回答」を除く56.5%が、仕事をする上で困っていることがあると回答しています。

■ 【Q40】（問39 で1～4と回答した方のみ）あなたが仕事をする上で困っていることは何ですか。

<MA> 《非該当：560件を除く》

	全 体	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	仕事は自分には合わない	職場の障害理解が不十分	職場の人間関係	職場の設備が障害に対応していない
件 数	216	34	49	8	26	38	9
%	100.0	15.7	22.7	3.7	12.0	17.6	4.2

	職場の情報保障（手話・点字など）が不十分	給与・工賃などが少ない	特にない	その他	無回答
件 数	3	71	87	12	7
%	1.4	32.9	40.3	5.6	3.2

③ 働いていない理由（就労・通所をしていない回答のみ・問41）

働いていない理由は「高齢のため」が49.9%と最も多く、ついで「障害や病気の状態のため」が43.3%となっています。

■【Q41】（問39で9と回答した方のみ）あなたが働いていない理由は何ですか。〈MA〉《非該当：427件を除く》

	全 体	障害や病気の状態のため	高齢のため	働く自信がないから	自分に合った仕事が見つからないから	希望に合った求人が見つからないから	通勤・通所が困難だから
件 数	349	151	174	36	22	21	23
%	100.0	43.3	49.9	10.3	6.3	6.0	6.6

	利用できる日中活動の場がないから	のんびり過ごしたいから	働く必要がないから	特に利用はない	その他	無回答
件 数	12	34	33	28	22	19
%	3.4	9.7	9.5	8.0	6.3	5.4

④ 今後の就労意向（就労・通所をしていない回答のみ・問42）

今後の就労意向は「働きたいと思わない」が40.7%と最も多く、ついで「自宅で働きたい」が9.5%となっています。

「働きたいと思わない」の40.7%に対し、『働きたい』（選択肢1～4の合計）は23.3%となっています。

■【Q42】（問39で9と回答した方のみ）あなたは今後の就労について主にどのように考えますか。〈SA〉《非該当：427件を除く》

	全 体	一般就労をしたい（正社員）	一般就労をしたい（パート・アルバイト）	自宅で働きたい	福祉的就労をしたい	働きたいと思わない	その他	無回答
件 数	349	14	23	33	11	142	55	71
%	100.0	4.0	6.6	9.5	3.2	40.7	15.8	20.3

⑤ 障害者が一般就労するために必要なこと（問43）

障害者が一般就労するために必要なことでは、「障害特性に合った職業・雇用の拡大」が36.3%と最も多く、ついで「職場の障害理解の促進」34.8%、「障害に対応した柔軟な勤務体系」34.7%などとなっています。

■【Q43】障害者が一般就労するためには、どのようなことが必要だと思いますか。 <MA>

	全 体	就労のための総合的な相談支援	働く能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	企業の障害者雇用への理解促進
件 数	776	243	229	153	282	228	267
%	100.0	31.3	29.5	19.7	36.3	29.4	34.4

	企業の障害者雇用への理解促進	職場の障害理解の促進	職場環境のバリアフリー化	障害に対応した柔軟な勤務体系	職場に定着するための支援	通勤手段や通勤支援の確保
件 数	267	270	143	269	138	163
%	34.4	34.8	18.4	34.7	17.8	21.0

	職場での良好な人間関係	働く時間以外の楽しみ	特にない	その他	無回答
件 数	239	148	99	28	155
%	30.8	19.1	12.8	3.6	20.0

手帳別では、身体障害者では「障害特性に合った職業・雇用の拡大」が最も多く、精神障害者では「職場の障害理解」や「柔軟な勤務体制」が多くなっています。

また、知的障害者では「職場での良好な人間関係」が最も多いほか、「働く力を身につけるための職業訓練」への要望もやや多くみられます。

■表頭：【Q43】障害者が一般就労するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(上段：件数、下段：横%)

年齢別	合計	就労のための総合的な相談	働く能力を身につけるため	職場を理解するための就労	障害特性に合った職業・雇	障害者向けの求人情報の提	企業の障害者雇用への理解	職場の障害理解の促進	職場環境のバリアフリー化	障害に対応した柔軟な勤務	職場に定着するための支援	通勤手段や通勤支援の確保	職場での良好な人間関係	働く時間以外の楽しみ(友)	特にな	その他	無回答
全体	769 100.0	241 31.3	227 29.5	153 19.9	281 36.5	227 29.5	266 34.6	268 34.9	143 18.6	268 34.9	137 17.8	163 21.2	238 30.9	148 19.2	99 12.9	28 3.6	152 19.8
30歳未満	52 100.0	27 51.9	21 40.4	25 48.1	29 55.8	22 42.3	29 55.8	32 61.5	17 32.7	28 53.8	18 34.6	15 28.8	26 50.0	13 25.0		2 3.8	6 11.5
30～39歳	58 100.0	25 43.1	27 46.6	19 32.8	27 46.6	29 50.0	30 51.7	37 63.8	12 20.7	31 53.4	18 31.0	15 25.9	36 62.1	25 43.1	1 1.7	3 5.2	3 5.2
40～49歳	114 100.0	40 35.1	39 34.2	32 28.1	52 45.6	35 30.7	56 49.1	50 43.9	20 17.5	51 44.7	34 29.8	29 25.4	46 40.4	27 23.7	6 5.3	7 6.1	15 13.2
50～59歳	89 100.0	38 42.7	30 33.7	26 29.2	42 47.2	46 51.7	43 48.3	38 42.7	30 33.7	46 51.7	21 23.6	28 31.5	38 42.7	21 23.6	10 11.2	4 4.5	6 6.7
60～64歳	54 100.0	16 29.6	14 25.9	10 18.5	14 25.9	13 24.1	17 31.5	19 35.2	9 16.7	16 29.6	6 11.1	8 14.8	14 25.9	6 11.1	8 14.8	2 3.7	8 14.8
65～74歳	177 100.0	48 27.1	50 28.2	24 13.6	65 36.7	48 27.1	54 30.5	49 27.7	33 18.6	56 31.6	22 12.4	38 21.5	39 22.0	29 16.4	24 13.6	5 2.8	41 23.2
75歳以上	225 100.0	47 20.9	46 20.4	17 7.6	52 23.1	34 15.1	37 16.4	43 19.1	22 9.8	40 17.8	18 8.0	30 13.3	39 17.3	27 12.0	50 22.2	5 2.2	73 32.4
手帳別																	
身体障害者手帳	529 100.0	149 28.2	147 27.8	81 15.3	195 36.9	141 26.7	162 30.6	160 30.2	102 19.3	160 30.2	66 12.5	114 21.6	137 25.9	94 17.8	81 15.3	10 1.9	119 22.5
要の手帳	103 100.0	39 37.9	41 39.8	34 33.0	39 37.9	31 30.1	40 38.8	43 41.7	20 19.4	35 34.0	33 32.0	32 31.1	46 44.7	27 26.2	7 6.8	9 8.7	20 19.4
精神障害者保健福祉手帳	126 100.0	49 38.9	40 31.7	46 36.5	50 39.7	52 41.3	59 46.8	65 51.6	21 16.7	64 50.8	41 32.5	22 17.5	55 43.7	31 24.6	10 7.9	11 8.7	13 10.3
発達障害の診断を受けてい	16 100.0	7 43.8	8 50.0	7 43.8	10 62.5	6 37.5	9 56.3	9 56.3	5 31.3	7 43.8	8 50.0	4 25.0	8 50.0	5 31.3		2 12.5	4 25.0
難病(特定疾患)の診断を	78 100.0	28 35.9	28 35.9	23 29.5	29 37.2	24 30.8	32 41.0	34 43.6	17 21.8	41 52.6	11 14.1	15 19.2	28 35.9	16 20.5	5 6.4	4 5.1	10 12.8

(10) 切れ目ない支援について

① 情報の引き継ぎについて (問44)

ライフステージの節目で障害者自身の情報が引き継がれず困ったことがあるかでは、「ない」が70.9%、「ある」7.9%となっています。

■【Q44】ライフステージの節目であなた自身の情報が引き継がれず困ったことはありますか。<SA>

	全 体	あ る	な い	無回答
件 数	776	61	550	165
%	100.0	7.9	70.9	21.3

② 情報が引き継がれず困った時期 (前問で「ある」と回答した人のみ・問45)

情報が引き継がれず困った時期は「就労するとき」が55.7%と最も多く、ついで「中学校から高等学校へ進学するとき」が26.2%となっています。

■【Q45】(問44で「ある」と回答した方のみ) 困ったのはいつですか。<MA> 《非該当：715件を
のぞく》

	全 体	保育園等 に入園す るとき	保育園等 から小学 校に入学 するとき	小学校か ら中学校 へ進学す るとき	中学校か ら高等学 校へ進学 するとき	高等学校 から大学 等へ進学 するとき	就労する とき	無回答
件数	61	13	12	13	16	6	34	12
%	100.0	21.3	19.7	21.3	26.2	9.8	55.7	19.7

(11) 施策について

① 今後力を入れてほしい施策（問46）

今後、行政に力を入れてほしい施策は「年金や手当などの経済的支援の充実」が55.9%と最も多く、ついで「障害に対する理解の促進」37.4%、「保健・医療の充実」35.7%などとなっています。

■ 【Q46】あなたは今後、行政にどのような施策に力を入れてほしいとおもいますか。 <MA>

	全 体	障害に対する理解の促進	保健・医療の充実	教育・育成の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	訪問系サービスの充実
件 数	776	290	277	93	201	173	108
%	100.0	37.4	35.7	12.0	25.9	22.3	13.9

	日中活動系サービスの充実	移動支援の充実 (通勤・通学を含む)	短期入所の充実	緊急一時保護の充実	コミュニケーション支援の充実や情報保障の確保	福祉機器・補装具などの充実	グループホームなどの整備
件 数	78	109	114	111	98	122	111
%	10.1	14.0	14.7	14.3	12.6	15.7	14.3

	入所施設の充実	障害者向けの住まいの確保	建物・道路などのバリアフリー化	趣味やスポーツ・レクリエーション活動の充実	年金や手当などの経済的支援の充実	特にない	その他
件 数	165	159	167	105	434	59	24
%	21.3	20.5	21.5	13.5	55.9	7.6	3.1

	無回答
件 数	81
%	10.4

ねんれいべつ てちょうべつ ねんきん てあて けいざいてきしえん じゅうじつ もっと おお
年齢別・手帳別では、いずれも「年金や手当などの経済的支援の充実」が最も多
 くなっています。ついで「障害に対する理解の促進」や「保健・医療の充実」など
 が多いなか、知的障害者では「入所施設の充実」もやや多くなっています。

■表頭：【Q46】あなたは今後、行政にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。
 (上段：件数、下段：横%)

年齢別	合計	障害に対する理解の促進	保健・医療の充実	教育・育成の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	移動支援の充実(通勤・通)	短期入所の充実	緊急一時保護の充実	コミュニケーション支援の充実	福祉機器・補装具などの充実	グループホームなどの整備	入所施設の充実	障害者向けの住まいの確保	建物・道路などのバリアフリー	趣味やスポーツ・レクリエ	年金や手当などの経済的支
全体	769 100.0	289 37.6	275 35.8	92 12.0	200 26.0	173 22.5	108 14.0	78 10.1	109 14.2	113 14.7	111 14.4	98 12.7	120 15.6	111 14.4	164 21.3	158 20.5	166 21.6	105 13.7	431 56.0
30歳未満	52 100.0	24 46.2	24 46.2	15 28.8	21 40.4	15 28.8	7 13.5	17 32.7	15 28.8	18 34.6	16 30.8	8 15.4	6 11.5	19 36.5	23 44.2	20 38.5	11 21.2	9 17.3	34 65.4
30～39歳	58 100.0	37 63.8	26 44.8	12 20.7	32 55.2	19 32.8	6 10.3	17 29.3	12 20.7	9 15.5	13 22.4	12 20.7	9 15.5	14 24.1	13 22.4	19 32.8	11 19.0	13 22.4	41 70.7
40～49歳	114 100.0	62 54.4	38 33.3	14 12.3	46 40.4	32 28.1	14 12.3	7 6.1	21 18.4	13 11.4	19 16.7	17 14.9	9 7.9	19 16.7	24 21.1	27 23.7	7 6.1	15 13.2	66 57.9
50～59歳	89 100.0	32 36.0	37 41.6	12 13.5	32 36.0	27 30.3	15 16.9	14 15.7	19 21.3	15 16.9	21 23.6	19 21.3	18 20.2	14 15.7	13 14.6	24 27.0	30 33.7	17 19.1	60 67.4
60～64歳	54 100.0	21 38.9	22 40.7	9 16.7	17 31.5	12 22.2	7 13.0	1 1.9	6 11.1	10 18.5	6 11.1	5 9.3	9 16.7	5 9.3	14 25.9	16 29.6	12 22.2	11 20.4	40 74.1
65～74歳	177 100.0	54 30.5	54 30.5	14 7.9	29 16.4	32 18.1	23 13.0	12 6.8	19 10.7	25 14.1	16 9.0	20 11.3	34 19.2	22 12.4	34 19.2	37 20.9	51 28.8	23 13.0	91 51.4
75歳以上	225 100.0	59 26.2	74 32.9	16 7.1	23 10.2	36 16.0	36 16.0	10 4.4	17 7.6	23 10.2	20 8.9	17 7.6	35 15.6	18 8.0	43 19.1	15 6.7	44 19.6	17 7.6	99 44.0
手帳別																			
身体障害者手帳	529 100.0	177 33.5	176 33.3	55 10.4	106 20.0	102 19.3	81 15.3	48 9.1	75 14.2	80 15.1	71 13.4	68 12.9	104 19.7	60 11.3	112 21.2	100 18.9	137 25.9	70 13.2	271 51.2
愛の手帳	103 100.0	50 48.5	37 35.9	12 11.7	32 31.1	32 31.1	11 10.7	24 23.3	27 26.2	28 27.2	30 29.1	15 14.6	10 9.7	40 38.8	47 45.6	32 31.1	20 19.4	20 19.4	62 60.2
精神障害者保健福祉手帳	126 100.0	67 53.2	46 36.5	18 14.3	56 44.4	42 33.3	24 19.0	20 15.9	17 13.5	15 11.9	22 17.5	21 16.7	8 6.3	23 18.3	14 11.1	33 26.2	12 9.5	23 18.3	89 70.6
発達障害の診断を受けていない	16 100.0	10 62.5	5 31.3	3 18.8	9 56.3	6 37.5	3 18.8	5 31.3	4 25.0	2 12.5	3 18.8	3 18.8	2 12.5	3 18.8	5 31.3	3 18.8	1 6.3	5 31.3	10 62.5
難病(特定疾患)の診断を	78 100.0	26 33.3	39 50.0	15 19.2	26 33.3	13 16.7	13 16.7	7 9.0	12 15.4	13 16.7	12 15.4	10 12.8	12 15.4	12 15.4	21 26.9	18 23.1	18 23.1	11 14.1	50 64.1

2 18歳未満とその保護者向けの障害者アンケート

(1) 回答者の属性について

① 調査の回答者 (問1)

調査票の回答者は「ご家族の方」が86.7%と最も多く、ついで「あて名ご本人」が11.3%となっています。

■ 【Q1】 調査票の回答者 <SA>

	全体	あて名ご本人	ご家族の方	その他	無回答
件数	248	28	215	2	3
%	100.0	11.3	86.7	0.8	1.2

② 性別 (問2)

回答者の性別は「男性」が64.9%で、「女性」の34.7%を上回っています。

■ 【Q2】 ①性別 <SA>

	全体	男性	女性	無回答
件数	248	161	86	1
%	100.0	64.9	34.7	0.4

③ 年齢 (問3)

回答者の年齢は「7~12歳(小学生)」が40.7%で最も多く、ついで「0~6歳(未就学)」が22.2%と続いています。

■ 【Q3】 ②年齢 (IN→SA) <SA>

	全体	0~6歳(未就学)	7~12歳(小学生)	13~15歳(中学生)	16~18歳(高校生)	無回答
件数	248	55	101	48	36	8
%	100.0	22.2	40.7	19.4	14.5	3.2

④ 居住地 (町名・問4)

回答者の居住地は「別所(13件)」や「石川町(12件)」、「南大沢(12件)」などがやや多いほか、幅広い地域から回答をいただいています。

※町名の後ろの () が件数

暁町(2)、旭町(0)、東町(0)、石川町(12)、泉町(0)、犬目町(4)、上野町(0)、打越町(2)、宇津木町(1)、宇津貫町(0)、梅坪町(0)、裏高尾町(1)、追分町(0)、大塚(4)、大船町(1)、大谷町(0)、大横町(0)、大和田町(7)、小門町(1)、尾崎町(0)、小津町(1)、鹿島(3)、加住町(0)、片倉町(3)、叶谷町(1)、上巻分方町(2)、上恩方町(0)、上川町(1)、上柚木(3)、川口町(4)、川町(1)、北野台(3)、北野町(2)、絹ヶ丘(6)、清川町(0)、櫛田町(7)、久保山町(4)、越野(2)、小比企町(1)、小宮町(2)、子安町(5)、左入町(0)、散田町(4)、下恩方町(3)、下柚木(2)、城山手(1)、新町(1)、諏訪町(4)、千人町(3)、台町(5)、大楽寺町(3)、平町(0)、高尾町(1)、高倉町(2)、高月町(0)、滝山町(0)、館町(6)、田町(0)、丹木町(0)、寺田町(1)、寺町(0)、天神町(1)、廿里町(0)、戸吹町(0)、中町(0)、長沼町(8)、中野上町(0)、中野山王(1)、中野町(2)、長房町(7)、中山(0)、七国(4)、並木町(1)、檜原町(6)、南陽台(0)、西浅川町(0)、西片倉(0)、西寺方町(3)、式分方町(4)、狭間町(2)、八幡町(0)、初沢町(1)、東浅川町(6)、東中野(1)、兵衛(2)、日吉町(0)、平岡町(1)、富士見町(1)、別所(13)、堀之内(5)、本郷町(0)、本町(0)、松が谷(2)、松木(0)、丸山町(0)、三崎町(2)、みつ台(1)、緑町(0)、南浅川町(0)、南大沢(12)、南新町(0)、南町(0)、みなみ野(2)、宮下町(0)、美山町(3)、明神町(5)、めじろ台(1)、元八王子町(5)、元本郷町(4)、元横山町(2)、八木町(1)、谷野町(2)、山田町(2)、鍵水(6)、八日町(0)、横川町(3)、横山町(1)、四谷町(0)、万町(1)、無回答・その他(2)

⑤ 問5 障害を受けた時期

障害を受けた時期は「生まれたとき」が29.8%と最も多く、ついで「3歳」が17.7%となっています。

■ 【Q5】 障害を受けた時期 <SA>

	全 体	うま れた とき	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4~5 歳	6~11 歳	12 歳以 上	無回答
件 数	248	74	24	16	25	44	31	21	7	6
%	100.0	29.8	9.7	6.5	10.1	17.7	12.5	8.5	2.8	2.4

⑥ 手帳の種類・発達障害等の診断の有無 (問6)

手帳の種類は「愛の手帳」が 80.2%と最も多く、ついで「身体障害者手帳」が 34.3%となっています。

発達障害の診断を受けている人の割合は、27.4%となっています。

■ 【Q6】手帳の種類 <MA>

	全 体	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	発達障害の診断を受けている	高次脳機能障害の診断を受けている	難病（特定疾患）の診断を受けている	手帳は持っていない	無回答
件 数	248	85	199	17	68	3	13	1	2
%	100.0	34.3	80.2	6.9	27.4	1.2	5.2	0.4	0.8

⑦ (身体障害者手帳所持者のみ) 手帳の等級 (問6-1)

身体障害者手帳を持つ人の等級は「1級」が 49.4%と最も多く、ついで「2級」が 18.8%となっています。

■ 【Q6-1】身体障害者手帳の等級 <SA> 《非該当：163件 を除く》

	全 体	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
件 数	85	42	16	12	5	3	5	2
%	100.0	49.4	18.8	14.1	5.9	3.5	5.9	2.4

⑧ (愛の手帳所持者のみ) 手帳の等級 (問6-2)

愛の手帳を持つ人の等級は「4度」が 45.2%と最も多く、ついで「3度」が 26.1%となっています。

■ 【Q6-2】愛の手帳の等級 <SA> 《非該当：49件 を除く》

	全 体	1度	2度	3度	4度	無回答
件 数	199	13	42	52	90	2
%	100.0	6.5	21.1	26.1	45.2	1.0

⑨ (精神障害者保健福祉手帳所持者のみ) 手帳の等級 (問6-3)

精神障害者保健福祉手帳を持つ人の等級は「3級」が82.4%と最も多く、ついで「1級」が11.8%となっています。

■【Q6-3】精神障害者保健福祉手帳の等級 <SA> 《非該当：231件 を除く》

	全体	1級	2級	3級	無回答
件数	17	2	1	14	0
%	100.0	11.8	5.9	82.4	0.0

⑩ (身体障害者手帳所持者のみ) 障害の種類 (問7)

身体障害者手帳を持つ人の障害の種類は「肢体不自由」が72.9%と最も多く、ついで「内部障害」が17.6%となっています。

■【Q7】(身体障害者のみ) 障害の種類は何ですか。 <MA> 《非該当：163件 を除く》

	全体	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしやく機能障害	肢体不自由	内部障害	無回答
件数	85	6	9	4	62	15	0
%	100.0	7.1	10.6	4.7	72.9	17.6	0.0

(2) 医療について

① 医療機関の受診状況（問8）

障害に関する医療機関の受診状況は「通院している」が73.0%と最も多く、ついで「受診していない」が20.6%となっています。

■【Q8】あなたは現在、障害に関することで医療機関を受診していますか。 <SA>

	全 体	受診して いない	通院して いる	入院して いる	自宅で往 診を受け ている	その他	無回答
件 数	248	51	181	2	3	9	2
%	100.0	20.6	73.0	0.8	1.2	3.6	0.8

② 医療に関する困りごと（問9）

医療に関する困りごとは「特にない」が40.7%と最も多く、ついで「医療機関が家の近くにない」23.8%、「気軽に相談できる場がない」17.3%などとなっています。

■【Q9】あなたには、医療に関して困っていることがありますか。 <MA>

	全 体	医療機関 が家の近 くにない	障害につ いての専 門の医療 機関がな い	休日や夜 間に対応 してくれ る医療機 関がない	通院のた めの介助 者が確保 しにくい	通院のた めの交通 機関が整 備されて いない	医療機関 がバリア フリー化 されてい ない
件 数	248	59	33	33	24	8	7
%	100.0	23.8	13.3	13.3	9.7	3.2	2.8

	気軽に相 談できる 場がない	治療の説 明が十分 理解でき ない	医療費の 負担が大 きい	障害が理 由で医療 拒否され たことが ある	特にない	その他	無回答
件 数	43	13	21	22	101	27	10
%	17.3	5.2	8.5	8.9	40.7	10.9	4.0

年齢別では、いずれも「特にない」が最も多くなっています。多くの年齢層で「医療機関が家の近くにない」が2番目に多いなか、7～12歳（小学生）では「気軽に相談できる場がない」がそれを上回っています。

手帳別では、身体障害児や精神障害児、難病患者などで「医療機関が家の近くにない」が最も多くなっています。

全体的に「特にない」という意見が多いものの、精神障害児や発達障害児、難病患者などでは「気軽に相談できる場がない」も比較的多くなっています。

■表頭：【Q9】あなたには、医療に関して困っていることがありますか。
（上段：件数、下段：横%）

年齢別	合計	医療機関が家の近くにない	障害についての専門の医療	休日や夜間に対応してくれ	通院のための介助者が確保	通院のための交通機関が整	医療機関がバリアフリー化	気軽に相談できる場がない	治療の説明が十分理解でき	医療費の負担が大	障害が理由で医療拒否され	特にない	その他	無回答
全体	240 100.0	56 23.3	31 12.9	32 13.3	22 9.2	8 3.3	6 2.5	42 17.5	12 5.0	21 8.8	21 8.8	99 41.3	26 10.8	9 3.8
0～6歳（未就学）	55 100.0	15 27.3	8 14.5	2 3.6	2 3.6	2 3.6	1 1.8	6 10.9	2 3.6	1 1.8	3 5.5	21 38.2	9 16.4	3 5.5
7～12歳（小学生）	101 100.0	21 20.8	13 12.9	21 20.8	10 9.9	4 4.0	5 5.0	23 22.8	5 5.0	5 5.0	10 9.9	45 44.6	8 7.9	3 3.0
13～15歳（中学生）	48 100.0	11 22.9	4 8.3	3 6.3	4 8.3			9 18.8	4 8.3	9 18.8	2 4.2	17 35.4	7 14.6	2 4.2
16～18歳（高校生）	36 100.0	9 25.0	6 16.7	6 16.7	6 16.7	2 5.6		4 11.1	1 2.8	6 16.7	6 16.7	16 44.4	2 5.6	1 2.8
手帳別														
身体障害者手帳	85 100.0	25 29.4	14 16.5	19 22.4	14 16.5	4 4.7	6 7.1	14 16.5	4 4.7	11 12.9	10 11.8	23 27.1	9 10.6	5 5.9
愛の手帳	199 100.0	40 20.1	24 12.1	28 14.1	21 10.6	6 3.0	5 2.5	33 16.6	10 5.0	18 9.0	19 9.5	80 40.2	22 11.1	6 3.0
精神障害者保健福祉手帳	17 100.0	9 52.9	2 11.8	3 17.6	2 11.8		1 5.9	6 35.3	1 5.9	2 11.8	2 11.8	5 29.4	2 11.8	3 17.6
発達障害の診断を受けてい	68 100.0	14 20.6	9 13.2	7 10.3	3 4.4	2 2.9	2 2.9	18 26.5	7 10.3	8 11.8	7 10.3	24 35.3	11 16.2	4 5.9
難病（特定疾患）の診断を	13 100.0	5 38.5	2 15.4	2 15.4	2 15.4	2 15.4	1 7.7	4 30.8	2 15.4	3 23.1	1 7.7	3 23.1	1 7.7	2 15.4

(3) 家族・介助について

① 主な介助者 (問10)

主な介助者は「母親」が81.5%と最も多く、ついで「介助は必要としていない」が12.1%となっています。

■【Q10】あなたを介助しているのは、主にどなたですか。 <SA>

	全 体	母親	父親	兄弟姉妹	その他親族	ホームヘルパー	施設などの職員
件 数	248	202	5	1	2	0	5
%	100.0	81.5	2.0	0.4	0.8	0.0	2.0

	介助は必要としていない	その他	無回答
件 数	30	0	3
%	12.1	0.0	1.2

② 介助者が困っていること (問11)

介助者が困っていることでは「将来の見通しに不安がある」が49.7%と最も多く、ついで「介助者自身の健康に不安がある」が41.7%となっています。

■【Q11】(家族介護) 介助者が困っていること <MA> 《非該当：38件 を除く》

	全 体	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	かわりの介助を頼める人がいない
件 数	210	53	56	90	52	86
%	100.0	25.2	26.7	42.9	24.8	41.0

	緊急時の対応に不安がある	長期の旅行が外出ができない	将来の見通しに不安がある	特にない	その他	無回答
件 数	89	50	160	20	10	1
%	42.4	23.8	76.2	9.5	4.8	0.5

年齢別・手帳別では、いずれも「将来の見通しに不安」という意見が最も多くな
 っています。次に多いのは、身体障害児では「かわりの介助を頼める人がいない」、知的
 障害児では「緊急時の対応に不安がある」、精神障害児では「精神的な負担が大きい」
 などとなっています。

■表頭：【Q11】（家族介護）介助者が困っていること《非該当：38件を除く》
 （上段：件数、下段：横%）

年齢別	合計	介助者自 身の健康 に不安が	身体的な 負担が大 きい	精神的な 負担が大 きい	経済的な 負担が大 きい	かわりの 介助を頼 める人が	緊急時の 対応に不 安がある	長期の旅 行が外出 ができな	将来の見 通しに不 安がある	特にない	その他	無回答
全体	204 100.0	52 25.5	55 27.0	86 42.2	50 24.5	83 40.7	87 42.6	48 23.5	156 76.5	20 9.8	9 4.4	1 0.5
0～6歳（ 未就学）	50 100.0	12 24.0	16 32.0	22 44.0	11 22.0	21 42.0	18 36.0	12 24.0	40 80.0	5 10.0	5 10.0	
7～12歳 （小学生 ）	86 100.0	21 24.4	20 23.3	36 41.9	19 22.1	36 41.9	43 50.0	19 22.1	66 76.7	9 10.5		1 1.2
13～15歳 （中学生 ）	39 100.0	6 15.4	6 15.4	17 43.6	6 15.4	12 30.8	11 28.2	4 10.3	26 66.7	6 15.4	3 7.7	
16～18歳 （高校生 ）	29 100.0	13 44.8	13 44.8	11 37.9	14 48.3	14 48.3	15 51.7	13 44.8	24 82.8		1 3.4	
手帳別												
身体障害 者手帳	75 100.0	29 38.7	37 49.3	34 45.3	25 33.3	44 58.7	36 48.0	31 41.3	62 82.7	3 4.0	5 6.7	
愛の手帳	172 100.0	46 26.7	45 26.2	73 42.4	39 22.7	74 43.0	78 45.3	44 25.6	134 77.9	17 9.9	8 4.7	1 0.6
精神障害 者保健福 祉手帳	15 100.0	6 40.0	4 26.7	10 66.7	9 60.0	7 46.7	8 53.3	3 20.0	14 93.3			
発達障害 の診断を 受けてい	59 100.0	12 20.3	9 15.3	26 44.1	15 25.4	20 33.9	24 40.7	10 16.9	47 79.7	5 8.5	1 1.7	1 1.7
難病（特 定疾患） の診断を	12 100.0	7 58.3	6 50.0	9 75.0	4 33.3	7 58.3	6 50.0	4 33.3	12 100.0		1 8.3	

③ 主な介護者の介護が受けられない時希望する対応 (問12)

主な介護者の介護が受けられない時希望する対応としては「同居の家族に介護してほしい」が47.6%と最も多く、ついで「ショートステイを利用したい」が36.7%となっています。

■【Q12】(家族介護) 主な介護者の介護が受けられない時希望する対応 <MA> (非該当: 38件を除く)

	全 体	同居の家族に介護してほしい	別居の親族に介護してほしい	ホームヘルパーを利用したい	ショートステイを利用したい	民間の有償介護サービスを利用したい	施設に入所したい
件 数	210	100	41	45	77	16	32
%	100.0	47.6	19.5	21.4	36.7	7.6	15.2

	病院に入院したい	わからない	その他	無回答
件 数	23	34	3	10
%	11.0	16.2	1.4	4.8

年齢別では、中学生以下では「同居の家族に介助してほしい」が最も多いのに対し、高校生では「ショートステイを利用したい」が多くなっています。
 手帳別では、全体的に「同居の家族に介助してほしい」が多いなか、身体障害児では「ショートステイ」が、難病では「病院への入院」の希望も多くなっています。

■表頭：【Q12】（家族介護）主な介助者の介助が受けられない時希望する対応《非該当：38件を除く》

（上段：件数、下段：横％）

年齢別	合計	同居の家族に介助してほしい	別居の親族に介助してほしい	ホームヘルパーを利用した	ショートステイを利用した	民間の有償介助サービスを	施設に入所したい	病院に入院したい	わからない	その他	無回答
全体	204 100.0	98 48.0	40 19.6	44 21.6	74 36.3	16 7.8	30 14.7	21 10.3	33 16.2	3 1.5	10 4.9
0～6歳（未就学）	50 100.0	26 52.0	12 24.0	9 18.0	16 32.0	6 12.0	9 18.0	8 16.0	8 16.0	1 2.0	1 2.0
7～12歳（小学生）	86 100.0	42 48.8	20 23.3	19 22.1	35 40.7	5 5.8	12 14.0	10 11.6	13 15.1		6 7.0
13～15歳（中学生）	39 100.0	19 48.7	6 15.4	8 20.5	10 25.6	2 5.1	3 7.7	1 2.6	8 20.5	2 5.1	2 5.1
16～18歳（高校生）	29 100.0	11 37.9	2 6.9	8 27.6	13 44.8	3 10.3	6 20.7	2 6.9	4 13.8		1 3.4
手帳別											
身体障害者手帳	75 100.0	27 36.0	10 13.3	25 33.3	38 50.7	5 6.7	16 21.3	19 25.3	9 12.0	2 2.7	1 1.3
愛の手帳	172 100.0	83 48.3	34 19.8	41 23.8	72 41.9	14 8.1	30 17.4	18 10.5	24 14.0	1 0.6	8 4.7
精神障害者保健福祉手帳	15 100.0	8 53.3	2 13.3	2 13.3	6 40.0	1 6.7	1 6.7	3 20.0	3 20.0		
発達障害の診断を受けてい	59 100.0	33 55.9	18 30.5	9 15.3	14 23.7	5 8.5	5 8.5	2 3.4	9 15.3	1 1.7	3 5.1
難病（特定疾患）の診断を	12 100.0	8 66.7	1 8.3	4 33.3	4 33.3	1 8.3	3 25.0	5 41.7			

(4) 日常生活について

① 自由時間の過ごし方 (問13)

自由時間の過ごし方では「家族との団らん」が68.1%と最も多く、ついで「趣味活動・遊び」54.4%や「テレビ・ラジオ」51.6%などが多く挙げられています。

■【Q13】あなたは普段、自由時間に何をしていますか。 <MA>

	全 体	家族との 団らん	友人・知 人との交 流	趣味活 動・遊び	スポー ツ・運 動・レク リエーシ ョン	買い物	地域の活 動
件 数	248	169	57	135	41	67	8
%	100.0	68.1	23.0	54.4	16.5	27.0	3.2

	障害者団 体などの 活動	テレビ・ ラジオ	特にな い	その他	無回答
件 数	29	128	13	27	1
%	11.7	51.6	5.2	10.9	0.4

② 日常生活で困っていること (問14)

日常生活で困っていることでは「将来に不安がある」が61.3%と最も多く、ついで「本人の成長や発達に不安がある」46.4%、「緊急時の対応に不安がある」44.0%などとなっています。

■ 【Q14】 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。 <MA>

	全 体	身の回りのことが十分できない	健康状態に不安がある	本人の成長や発達に不安がある	住まいについて困っている	外出について困っている	緊急時の対応に不安がある
件 数	248	101	56	115	25	74	109
%	100.0	40.7	22.6	46.4	10.1	29.8	44.0

	教育・療育について困っている	余暇活動や遊ぶことが十分にできない	スポーツ・運動・レクリエーションが十分にできない	経済的に不安がある	将来に不安がある	どうしてよいかわからないことがある	特にない
件 数	59	50	56	73	152	57	24
%	23.8	20.2	22.6	29.4	61.3	23.0	9.7

	その他	無回答
件 数	4	5
%	1.6	2.0

年齢別では、未就学児で「本人の成長や発達に不安」が最も多いほか、他の年代や手帳別では「将来に不安」が最も多くなっています。

また、知的障害児では「緊急時の対応に不安がある」、精神障害児では「経済的に不安がある」という回答もやや多くみられます。

■表頭：[Q14]あなたには、日常生活で困っていることはありますか。
(上段：件数、下段：横%)

年齢別	合計	身の回りのことが十分でき	健康状態に不安がある	本人の成長や発達に不安がある	住まいについて困っている	外出について困っている	緊急時の対応に不安がある	教育・療育について困っている	余暇活動や遊ぶことが十分	スポーツ・運動・レクリエ	経済的に不安がある	将来に不安がある	どうしてよいかわからない	特にな	その他	無回答
全体	240 100.0	98 40.8	52 21.7	109 45.4	24 10.0	70 29.2	106 44.2	57 23.8	48 20.0	53 22.1	70 29.2	146 60.8	55 22.9	24 10.0	4 1.7	5 2.1
0～6歳（未就学）	55 100.0	28 50.9	15 27.3	34 61.8	6 10.9	19 34.5	25 45.5	18 32.7	13 23.6	16 29.1	11 20.0	29 52.7	12 21.8	5 9.1	2 3.6	
7～12歳（小学生）	101 100.0	44 43.6	17 16.8	45 44.6	11 10.9	30 29.7	45 44.6	24 23.8	17 16.8	16 15.8	25 24.8	60 59.4	24 23.8	11 10.9	1 1.0	2 2.0
13～15歳（中学生）	48 100.0	11 22.9	11 22.9	20 41.7	2 4.2	9 18.8	17 35.4	11 22.9	9 18.8	13 27.1	16 33.3	33 68.8	11 22.9	5 10.4	1 2.1	1 2.1
16～18歳（高校生）	36 100.0	15 41.7	9 25.0	10 27.8	5 13.9	12 33.3	19 52.8	4 11.1	9 25.0	8 22.2	18 50.0	24 66.7	8 22.2	3 8.3		2 5.6
手帳別																
身体障害者手帳	85 100.0	45 52.9	34 40.0	46 54.1	15 17.6	28 32.9	42 49.4	19 22.4	25 29.4	24 28.2	26 30.6	50 58.8	20 23.5	6 7.1	1 1.2	3 3.5
愛の手帳	199 100.0	86 43.2	43 21.6	93 46.7	21 10.6	64 32.2	93 46.7	45 22.6	42 21.1	41 20.6	63 31.7	126 63.3	50 25.1	18 9.0	4 2.0	4 2.0
精神障害者保健福祉手帳	17 100.0	7 41.2	3 17.6	8 47.1	2 11.8	8 47.1	8 47.1	9 52.9	4 23.5	3 17.6	10 58.8	12 70.6	8 47.1			
発達障害の診断を受けていない	68 100.0	20 29.4	11 16.2	33 48.5	5 7.4	22 32.4	36 52.9	19 27.9	12 17.6	15 22.1	22 32.4	40 58.8	20 29.4	4 5.9	1 1.5	2 2.9
難病（特定疾患）の診断を受けていない	13 100.0	9 69.2	6 46.2	7 53.8	2 15.4	8 61.5	8 61.5	5 38.5	4 30.8	5 38.5	6 46.2	10 76.9	7 53.8	2 15.4		

③ 困りごとの相談相手 (問15)

困りごとの相談相手は「同居の家族」が66.9%と最も多く、ついで「学校・幼稚園・保育所の教職員」52.4%、「医療関係者」49.2%などとなっています。

■ 【Q15】あなたは普段、困ったときに誰に相談していますか。 <MA>

	全 体	同居の家 族	別居の家 族・親族	友人・知 人(障害 者)	友人・知 人(健常 者)	近所の人	市のケー スワーカ ー
件 数	248	166	91	37	72	4	2
%	100.0	66.9	36.7	14.9	29.0	1.6	0.8

	ホームヘ ルパー	学校・幼 稚園・保 育所の教 職員	福祉施設 の職員	医療関係 者	民生委 員・児童 委員	身体障害 者相談 員・知的 障害者相 談員	相談支援 事業所
件 数	8	130	34	122	0	4	23
%	3.2	52.4	13.7	49.2	0.0	1.6	9.3

	保健所・ 保健セン ター	難病相 談・支援 センター	障害者団 体・患者 会	特にいな い	その他	無回答
件 数	7	4	13	8	15	2
%	2.8	1.6	5.2	3.2	6.0	0.8

ねんれいべつ てちょうべつ みしゅうがくじ しんたいしょうがいじ いりょうきかん もっと おお しょうがくせい
年齢別・手帳別では、未就学児や身体障害児では「医療機関」が最も多く、小学生
 しょうがくせい
では「広報はちおうじ」が、中・高校生や知的障害児、精神障害児などでは「学校・
 こうほう ちゅう こうこうせい ちてきしょうがいじ せいしんしょうがいじ がっこう
幼稚園・保育所」が多くなっています。また、未就学児や身体障害児、知的障害児な
 ようちえん ほいくじょ おお みしゅうがくじ しんたいしょうがいじ ちてきしょうがいじ
どでは「友人や知人」も比較的が多くなっています。
 ゆうじん ちじん ひかくてきおお

■表頭：【Q16】あなたは、福祉サービスなどの情報を、主にどこから入手していますか。
 (上段：件数、下段：横%)

※特になし、その他の欄は割合

年齢別	合計	広報「はちおうじ」	東京都広報	市のパンフレットなど	市のホームページ	その他のホームページ	テレビ・ラジオ	新聞・書籍	SNS(ソーシャル・ネットワ)	学校・幼稚園・保育所	市役所	医療機関	福祉施設	相談支援事業所	保健所・保健センター	難病相談・支援センター	障害者団体・患者会	友人や知人
全体	240 100.0	90 37.5	10 4.2	26 10.8	26 10.8	25 10.4	8 3.3	12 5.0	23 9.6	94 39.2	43 17.9	76 31.7	24 10.0	26 10.8	5 2.1	3 1.3	14 5.8	85 35.4
0～6歳(未就学)	55 100.0	16 29.1	1 1.8	6 10.9	10 18.2	9 16.4	4 7.3	1 1.8	7 12.7	20 36.4	12 21.8	25 45.5	8 14.5	3 5.5	4 7.3	1 1.8	4 7.3	24 43.6
7～12歳(小学生)	101 100.0	39 38.6	3 3.0	8 7.9	9 8.9	11 10.9	2 2.0	5 5.0	8 7.9	33 32.7	15 14.9	34 33.7	11 10.9	14 13.9	1 1.0	1 1.0	4 4.0	32 31.7
13～15歳(中学生)	48 100.0	18 37.5	3 6.3	6 12.5	5 10.4	3 6.3	1 2.1	3 6.3	7 14.6	23 47.9	8 16.7	8 16.7	1 2.1	6 12.5		1 2.1	4 8.3	17 35.4
16～18歳(高校生)	36 100.0	17 47.2	3 8.3	6 16.7	2 5.6	2 5.6	1 2.8	3 8.3	1 2.8	18 50.0	8 22.2	9 25.0	4 11.1	3 8.3			2 5.6	12 33.3
手帳別																		
身体障害者手帳	85 100.0	25 29.4	2 2.4	7 8.2	4 4.7	9 10.6	3 3.5	1 1.2	6 7.1	26 30.6	21 24.7	33 38.8	6 7.1	10 11.8	3 3.5		3 3.5	31 36.5
愛の手帳	199 100.0	72 36.2	9 4.5	20 10.1	23 11.6	20 10.1	5 2.5	11 5.5	17 8.5	87 43.7	33 16.6	59 29.6	21 10.6	24 12.1	4 2.0	2 1.0	11 5.5	77 38.7
精神障害者保健福祉手帳	17 100.0	5 29.4	1 5.9	3 17.6	1 5.9	2 11.8		1 5.9	2 11.8	7 41.2	5 29.4	6 35.3	1 5.9	2 11.8		1 5.9	2 11.8	5 29.4
発達障害の診断を受けている	68 100.0	27 39.7	1 1.5	7 10.3	5 7.4	9 13.2	2 2.9	4 5.9	5 7.4	33 48.5	13 19.1	24 35.3	6 8.8	7 10.3	1 1.5	1 1.5	6 8.8	25 36.8
難病(特定疾患)の診断を	13 100.0	4 30.8		1 7.7	2 15.4	1 7.7			1 7.7	2 15.4	2 15.4	3 23.1			1 7.7			5 38.5

④ 福祉サービスなどの情報の入手先（問16）

福祉に関する情報の入手先は「学校・幼稚園・保育所」が39.1%と最も多く、
ついで「広報『はちおうじ』」37.1%、「友人や知人」35.9%などとなっています。

一方、「特にない」との回答も10.1%みられます。

■【Q16】あなたは、福祉サービスなどの情報を、主にどこから入手していますか。 <MA>

	全 体	広報「はちおうじ」	東京都広報	市のパンフレットなど	市のホームページ	その他のホームページ	テレビ・ラジオ
件 数	248	92	10	26	26	27	8
%	100.0	37.1	4.0	10.5	10.5	10.9	3.2

	新聞・書籍	SNS ツイッターやフェイスブックなど	学校・幼稚園・保育所	市役所	医療機関	福祉施設	相談支援事業所
件 数	12	24	97	45	78	24	26
%	4.8	9.7	39.1	18.1	31.5	9.7	10.5

	保健所・保健センター	難病相談・支援センター	障害者団体・患者会	友人や知人	特にない	その他	無回答
件 数	5	3	14	89	25	4	3
%	2.0	1.2	5.6	35.9	10.1	1.6	1.2

⑤ サービス利用に関して困っていること（問17）

サービス利用に関して困っていることでは「サービスに関する情報が少ない」が48.0%と最も多く、ついで「サービス利用の手続きが大変」32.7%、「誰に相談すればよいかわからない」22.2%などとなっています。

なお、「特にない」は22.6%で、「特にない」と「無回答」を除く73.8%は何らかの困りごとがあると回答しています。

■【Q17】あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。 <MA>

	全 体	サービスに関する情報が少ない	サービス利用の手続きが大変	利用したいサービスを利用できない	利用できる回数や日数が少ない	希望に合った事業者が見つからない	サービスの質が良くない
件 数	248	119	81	47	45	45	9
%	100.0	48.0	32.7	19.0	18.1	18.1	3.6

	自分に必要なサービスがない	誰に相談すればよいかわからない	特にない	その他	無回答
件 数	31	55	56	19	9
%	12.5	22.2	22.6	7.7	3.6

(5) 災害について

① 災害時に不安を感じることに（問18）

災害時に不安を感じることは「ひとりでは避難できない」が69.4%と最も多く、
ついで「自分では助けを呼ぶことができない」が56.5%となっています。

なお、「特になし」はわずか6.9%で、「特になし」と「無回答」を除く93.1%は何かの不安を感じると回答しています。

■【Q18】あなたは地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。 <MA>

	全 体	ひとりでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	近所に助けてくれる人がいないことが不安	自宅や避難所で必要な介助や支援を受けられるか不安	災害についての情報を得るのが難しい	通学や通所の途中で災害にあった場合の対応がわからない
件 数	248	172	140	77	128	75	123
%	100.0	69.4	56.5	31.0	51.6	30.2	49.6

	避難の仕方や、避難する場所がわからない	避難所の設備が障害に対応しているのか不安	避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	薬や医療的ケアを確保できるか不安	特になし	その他	無回答
件 数	77	110	110	93	17	9	0
%	31.0	44.4	44.4	37.5	6.9	3.6	0.0

年齢別では、小学生以下で「ひとりでは避難できない」や「自分では助けを呼ぶことができない」、中・高校生で「通学や通所の途中で災害にあった場合の対応がわからない」ことへの不安が多くなっています。

手帳別では、精神障害児で「通学や通所の途中で災害にあった場合の対応がわからない」や「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」、難病患者で「薬や医療的ケアを確保できるか不安」も多くなっています。

■表頭：【Q18】あなたは地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。
(上段：件数、下段：横%)

年齢別	合計	ひとりでは避難できない	自分では助けを呼ぶことが	近所に助けてくれる人がい	自宅や避難所で必要な介助	災害についての情報を得る	通学や通所の途中で災害に	避難の仕方や、避難する場	避難所の設備が障害に対応	避難所で他の人と一緒に過	薬や医療的ケアを確保でき	特にな	その他	無回答
全体	240 100.0	166 69.2	135 56.3	72 30.0	124 51.7	72 30.0	118 49.2	74 30.8	107 44.6	108 45.0	89 37.1	17 7.1	9 3.8	
0～6歳（未就学）	55 100.0	47 85.5	40 72.7	17 30.9	32 58.2	16 29.1	19 34.5	20 36.4	28 50.9	25 45.5	31 56.4	1 1.8		
7～12歳（小学生）	101 100.0	75 74.3	60 59.4	34 33.7	53 52.5	31 30.7	51 50.5	33 32.7	48 47.5	47 46.5	36 35.6	5 5.0	6 5.9	
13～15歳（中学生）	48 100.0	24 50.0	20 41.7	10 20.8	20 41.7	14 29.2	27 56.3	11 22.9	15 31.3	19 39.6	9 18.8	6 12.5	1 2.1	
16～18歳（高校生）	36 100.0	20 55.6	15 41.7	11 30.6	19 52.8	11 30.6	21 58.3	10 27.8	16 44.4	17 47.2	13 36.1	5 13.9	2 5.6	
手帳別														
身体障害者手帳	85 100.0	66 77.6	55 64.7	30 35.3	57 67.1	34 40.0	38 44.7	27 31.8	57 67.1	39 45.9	56 65.9	2 2.4	1 1.2	
愛の手帳	199 100.0	145 72.9	123 61.8	63 31.7	107 53.8	63 31.7	104 52.3	70 35.2	90 45.2	93 46.7	71 35.7	14 7.0	9 4.5	
精神障害者保健福祉手帳	17 100.0	10 58.8	7 41.2	5 29.4	9 52.9	5 29.4	12 70.6	6 35.3	6 35.3	12 70.6	7 41.2	1 5.9	1 5.9	
発達障害の診断を受けてい	68 100.0	53 77.9	41 60.3	25 36.8	32 47.1	21 30.9	45 66.2	25 36.8	30 44.1	35 51.5	19 27.9	3 4.4	1 1.5	
難病（特定疾患）の診断を	13 100.0	10 76.9	7 53.8	5 38.5	8 61.5	5 38.5	7 53.8	6 46.2	7 53.8	6 46.2	10 76.9	1 7.7		

② 災害時に必要とする支援（問19）

災害時に必要とする支援は「障害に対応した避難所の確保」が63.7%と最も多く、
 ついで「見守りや安否の確認」53.6%、「自宅や避難所での介助や支援」52.4%など
 となっています。

■ 【Q19】 あなたは、災害のときにどのような支援が必要だと思いますか。 <MA>

	全 体	障害に 応じた災害 情報の伝 達	見守りや 安否の確 認	避難のた めの介助 や支援	自宅や避 難所での 介助や支 援	障害に対 応した避 難所の確 保	薬や医療 的ケアの 確保
件 数	248	115	133	124	130	158	108
%	100.0	46.4	53.6	50.0	52.4	63.7	43.5

	特にない	その他	無回答
件 数	13	8	1
%	5.2	3.2	0.4

(6) 住まいについて

① 住まいの状況 (問20)

住まいの状況は「持ち家(一戸建て)」が53.2%と最も多く、ついで「持ち家(集合住宅)」が16.1%となっており、両者を合わせた「持ち家」の割合は69.3%となっています。

■【Q20】あなたのお住まいをお聞きます。 <SA>

	全体	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (集合住宅)	民間賃貸 住宅(一戸建て)	民間賃貸 住宅(集合住宅)	公営住宅 (都営・市営)	公社・公団 賃貸住宅
件数	248	132	40	7	33	20	10
%	100.0	53.2	16.1	2.8	13.3	8.1	4.0

	グループホームなど	入所施設	その他	無回答
件数	0	5	1	0
%	0.0	2.0	0.4	0.0

② 住宅に関して困っていること (問21)

住宅に関して困っていることは、「家賃など住宅費の負担」が16.5%と最も多く、ついで「建物の老朽化」が14.1%となっています。

なお、「特になく、満足している」は55.2%で、「特になく、満足している」と「無回答」を除く41.2%が何らかの困りごとがあると回答しています。

■【Q21】あなたには、住宅に関して困っていることがありますか。 <MA>

	全体	階段の昇り降り	玄関・出入口の段差	入り口の廊下が狭い	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化
件数	248	21	24	24	23	10	35
%	100.0	8.5	9.7	9.7	9.3	4.0	14.1

	家賃など住宅費の負担	住宅を借りるのが難しい	特になく、満足している	その他	無回答
件数	41	8	137	10	9
%	16.5	3.2	55.2	4.0	3.6

③ 住宅に関して行政が今後取り組むべきこと（問22）

住宅に関して行政が今後取り組むべきことでは「グループホームなどの整備を促進する」が39.9%と最も多く、ついで「家賃の助成をする」が39.1%となっています。

なお、「特にない」は14.1%となっています。

■【Q22】あなたは、住宅に関して行政が今後どのような取り組みをする必要があると思いますか。

<MA>

	全 体	住宅改修費の助成を充実する	公営住宅を障害者が利用しやすくする	公営住宅の入居の優先枠を拡充する	障害者向け住宅の整備を促進する	単身者向け住宅の整備を促進する	グループホームなどの整備を促進する
件 数	248	78	73	71	89	28	99
%	100.0	31.5	29.4	28.6	35.9	11.3	39.9

	家賃の助成をする	特にない	その他	無回答
件 数	97	35	9	6
%	39.1	14.1	3.6	2.4

(7) 外出について

① 外出する頻度 (問23)

外出する頻度は「ほとんど毎日」が79.8%と最も多く、ついで「週に3～5日くらい」が11.3%となっています。

一方、「あまり外出しない」は2.4%となっています。

■【Q23】あなたは普段、どのくらいの頻度で外出していますか。 <SA>

	全 体	ほとんど毎日	週に3～5日くらい	週に1～2日くらい	月に1～3日くらい	あまり外出しない	無回答
件 数	248	198	28	12	3	6	1
%	100.0	79.8	11.3	4.8	1.2	2.4	0.4

② 外出時の目的 (問24)

外出時の目的は「通学・通園」が95.2%と最も多く、ついで「買い物」41.5%、「通院」40.3%などとなっています。

■【Q24】あなたは普段、どのような目的で外出しますか。 <MA>

	全 体	通学・通園	施設への通所	通院	訓練・リハビリ	買い物	趣味活動・遊び
件 数	248	236	60	100	64	103	92
%	100.0	95.2	24.2	40.3	25.8	41.5	37.1

	スポーツ・運動・レクリエーション	友だちとの交流	旅行	あまり外出しない	その他	無回答
件 数	39	48	34	4	9	1
%	15.7	19.4	13.7	1.6	3.6	0.4

③ 移動手段 (問25)

移動手段は「徒歩」が66.5%と最も多くなっています。ついで多いのは「自動車」の64.1%で、18歳未満では電車やバスなどの公共交通機関よりも自動車の割合の方が多くなっています。

■【Q25】あなたは普段、どのような移動手段を利用していますか。 <MA>

	全体	徒歩	ベビーカー	車いす	電動車いす	自転車	オートバイ
件数	248	165	20	33	1	47	0
%	100.0	66.5	8.1	13.3	0.4	19.0	0.0

	自動車	電車	路線バス	スクールバス	一般のタクシー	リフト付きタクシー	市のリフト付き自動車(わかこま号)
件数	159	100	97	68	20	1	1
%	64.1	40.3	39.1	27.4	8.1	0.4	0.4

	あまり外出しない	その他	無回答
件数	2	4	1
%	0.8	1.6	0.4

④ 外出時に困ること（問26）

外出時に困ることでは「困ったときどうすればいいか不安」が39.1%と最も多く、ついで「トイレの利用」25.0%、「駅での移動や乗り換え」24.6%、「多動やこだわりのため、安全確保等が難しい」24.2%などとなっています。

なお、「特にない」は19.8%で、「特にない」と「無回答」を除く78.6%が外出時に何かしら困ることがあると回答しています。

■ 【Q26】あなたは、外出するとき、どのようなことで困っていますか。 <MA>

	全体	付き添ってくれる人がいない	歩道や道路の段差や幅	横断用の信号の時間が短い	音響式信号機の設置が十分でない	建物の段差・階段・設備	駅での移動や乗り換え
件数	248	47	45	20	5	40	61
%	100.0	19.0	18.1	8.1	2.0	16.1	24.6

	駅での券売機の利用	バスやタクシーの乗り降り	電車やバス内などでのアナウンスがわかりにくい	公共交通機関が少ない	トイレの利用	休憩場所がない	障害者用駐車場が少ない
件数	27	24	26	11	62	28	42
%	10.9	9.7	10.5	4.4	25.0	11.3	16.9

	交通費の負担	発作など突然の心身の変化	多動やこだわりのため、安全確保等が難しい	周囲の目が気になる	困ったときどうすればいいか不安	特にない	その他	無回答
件数	37	27	60	56	97	49	13	4
%	14.9	10.9	24.2	22.6	39.1	19.8	5.2	1.6

年齢別・手帳別では、未就学児や身体障害児、難病などで「トイレの利用」が最も多く、その他では「困ったときどうすればいいか不安」が多くなっています。

また2番目に多い項目は、身体障害児では「歩道や道路の段差や幅」、知的障害児では「多動やこだわりのため、安全確保が難しい」、精神障害児では「多動やこだわりのため、安全確保が難しい」及び「周囲の目が気になる」、高校生では「付き添ってくれる人がいない」など、困りごとは年代や障害種別ごとに異なっています。

■表頭：[Q26]あなたは、外出するとき、どのようなことで困っていますか。
(上段：件数、下段：割合)

※特になし、その他の欄は割合

年齢別	合計	付き添ってくれる人(移動)	歩道や道路の段差や幅	横断用の信号の時間が短い	音響式信号機の設置が十分	建物の段差・階段・設備	駅での移動や乗り換え	駅での券売機の利用	バスやタクシーの乗り降り	電車やバス内などでのアナ	公共交通機関が少ない	トイレの利用	休憩場所がない	障害者用駐車場の少ない	交通費の負担	発作など突然の心身の変化	多動やこだわりのため、安	周囲の目が気になる	困ったときどうすればいい	
全体	240 100.0	45 18.8	43 17.9	20 8.3	4 1.7	39 16.3	60 25.0	26 10.8	24 10.0	26 10.8	11 4.6	60 25.0	27 11.3	40 16.7	37 15.4	27 11.3	57 23.8	54 22.5	96 40.0	
0～6歳(未就学)	55 100.0	7 12.7	12 21.8	6 10.9	2 3.6	12 21.8	12 21.8	2 3.6	6 10.9	3 5.5	1 1.8	18 32.7	6 10.9	13 23.6	11 20.0	6 10.9	14 25.5	10 18.2	16 29.1	
7～12歳(小学生)	101 100.0	19 18.8	23 22.8	11 10.9	2 2.0	19 18.8	32 31.7	17 16.8	16 15.8	17 16.8	8 7.9	25 24.8	14 13.9	18 17.8	12 11.9	11 10.9	30 29.7	26 25.7	46 45.5	
13～15歳(中学生)	48 100.0	7 14.6	1 2.1	1 2.1		3 6.3	7 14.6	3 6.3		3 6.3	2 4.2	8 16.7	4 8.3	2 4.2	4 8.3	4 8.3	12.5	6 18.8	9 39.6	
16～18歳(高校生)	36 100.0	12 33.3	7 19.4	2 5.6		5 13.9	9 25.0	4 11.1	2 5.6	3 8.3		9 25.0	3 8.3	7 19.4	10 27.8	6 16.7	7 19.4	9 25.0	15 41.7	
手帳別																				
身体障害者手帳	85 100.0	20 23.5	35 41.2	13 15.3	4 4.7	32 37.6	29 34.1	8 9.4	14 16.5	5 5.9	3 3.5	38 44.7	20 23.5	30 35.3	15 17.6	19 22.4	14 16.5	18 21.2	22 25.9	
要の手帳	199 100.0	44 22.1	34 17.1	16 8.0	3 1.5	30 15.1	50 25.1	24 12.1	20 10.1	24 12.1	9 4.5	53 26.6	21 10.6	35 17.6	32 16.1	18 9.0	53 26.6	46 23.1	85 42.7	
精神障害者保健福祉手帳	17 100.0	2 11.8	2 11.8	2 11.8			1 5.9			1 5.9		3 17.6	2 11.8	2 11.8	3 17.6	4 23.5	9 52.9	9 52.9	10 58.8	
発達障害の診断を受けている	68 100.0	9 13.2	9 13.2	4 5.9	1 1.5	4 5.9	16 23.5	9 13.2	2 2.9	8 11.8	2 2.9	13 19.1	5 7.4	6 8.8	12 17.6	10 14.7	27 39.7	24 35.3	39 57.4	
難病(特定疾患)の診断を	13 100.0	3 23.1	4 30.8	1 7.7	1 7.7	4 30.8	5 38.5	1 7.7	3 23.1	2 15.4	1 7.7	6 46.2	4 30.8	2 15.4	4 30.8	3 23.1	2 15.4	4 30.8	6 46.2	

(8) 権利擁護について

① 権利擁護の取組の認知度 (問27)

権利擁護の取組のうち、「成年後見制度」は「内容を知っている」が22.2%、「名前は聞いたことがある」が36.7%で、5つの取組の中では最も認知度が高くなっています。

また「差別解消法」は、「内容を知っている」が23.4%、「名前は聞いたことがある」が21.0%で、認知度は比較的高いものの、「知らない」が過半数となっています。

その他の取組は、いずれも「知らない」が7割近くから8割超を占めている一方、「内容を知っている」が1割未満となっており、認知度は非常に低くなっています。

■【Q27】あなたは次のような権利擁護の取組を知っていますか。<SA>

		全 体	内容を知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
①成年後見制度	件 数	248	55	91	97	5
	%	100.0	22.2	36.7	39.1	2.0
②地域福祉権利擁護事業	件 数	248	9	24	210	5
	%	100.0	3.6	9.7	84.7	2.0
③差別解消法	件 数	248	58	52	132	6
	%	100.0	23.4	21.0	53.2	2.4
④差別禁止条例	件 数	248	20	49	172	7
	%	100.0	8.1	19.8	69.4	2.8
⑤八王子市障害者虐待防止センター	件 数	248	20	41	175	12
	%	100.0	8.1	16.5	70.6	4.8

② 成年後見制度の利用意向（問28）

成年後見制度の利用意向では「わからない」が63.3%と最も多く、ついで「今後利用したい」が32.3%となっています。

■【Q28】あなたは今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。<SA>

	全体	今後利用したい	利用したくない	わからない	無回答
件数	248	80	6	157	5
%	100.0	32.3	2.4	63.3	2.0

③ 地域福祉権利擁護事業の利用意向（問29）

地域福祉権利擁護事業の利用では「わからない」が65.3%と最も多く、ついで「今後利用したい」が31.0%となっています。

■【Q29】あなたは今後、地域福祉権利擁護事業を利用したいと思いますか。<SA>

	全体	今後利用したい	利用したくない	わからない	無回答
件数	248	77	4	162	5
%	100.0	31.0	1.6	65.3	2.0

④ 差別や人権侵害などの実感（問30）

差別や人権侵害などを感じるかでは「ときどき感じる」が41.1%と最も多く、ついで「あまり感じない」が38.7%となっています。

『感じる』（「いつも感じる」と「ときどき感じる」の合計）と『感じない』（「あまり感じない」と「まったく感じない」の合計）の比較では、『感じる』が47.1%、『感じない』が51.2%となっています。

■【Q30】あなたや家族の方は、あなたの障害のことで差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。<SA>

	全体	いつも感じる	ときどき感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
件数	248	15	102	96	31	4
%	100.0	6.0	41.1	38.7	12.5	1.6

（問31、問32 は記述式による個別事例のため割愛）

⑤ 相談制度による安心感 (問33)

相談制度による安心感では「わからない」が36.7%と最も多く、ついで「少し安心できる」が33.9%となっています。

■【Q33】あなたが差別や虐待を受けたとき、市や相談支援事業者に相談できる制度があることで、あなたは安心して暮らすことができますか。 <SA>

	全 体	安心できる	少し安心できる	安心できない	わからない	無回答
件 数	248	38	84	28	91	7
%	100.0	15.3	33.9	11.3	36.7	2.8

(9) 教育・療育について

① 平日の日中の過ごし方 (問34)

平日の日中の過ごし方は「特別支援学校（小学部）」が21.4%と最も多く、ついで「小学校（特別支援学級）」17.7%、「特別支援学校（高等部）」16.5%などとなっています。

■ 【Q34】 あなたは平日の日中、どこに通っていますか。 <MA >

	全 体	保育園	幼稚園	児童発達支援センター	療育施設	小学校 (通常学級)	小学校 (特別支援学級)
件 数	248	12	4	13	24	17	44
%	100.0	4.8	1.6	5.2	9.7	6.9	17.7

	特別支援学校（小学部）	中学校 (通常学級)	中学校 (特別支援学級)	特別支援学校（中学部）	高等学校	特別支援学校（高等部）	その他の学校
件 数	53	8	19	18	11	41	0
%	21.4	3.2	7.7	7.3	4.4	16.5	0.0

	どこにも通っていない	その他	無回答
件 数	4	3	2
%	1.6	1.2	0.8

② 放課後などの過ごし方 (問35)

放課後などの過ごし方は「家族・親族といる」が 67.7%と最も多く、ついで「放課後等デイサービスを利用」が 49.2%となっています。

■ 【Q35】あなたは学校の放課後などは、どのように過ごしていますか。 <MA>

	全 体	家族・親族といる	友人・知人といる	ひとりでいる	ヘルパーなどという	放課後等デイサービスを利用	学童保育所を利用している
件 数	248	168	29	32	6	122	11
%	100.0	67.7	11.7	12.9	2.4	49.2	4.4

	児童館を利用している	習い事や塾に行く	その他	無回答
件 数	0	31	13	3
%	0.0	12.5	5.2	1.2

③ 療育や訓練などでの困りごと（問36）

療育や訓練などでの困りごとは「療育・訓練を受けられる回数が少ない」が34.3%と最も多く、ついで「療育・訓練に関する情報が少ない」が29.8%、「通園・通所（送り迎え）が大変である」と「特にない」が27.0%となっています。

■【Q36】あなたには、療育や訓練について、現在困っていることや以前に困っていたことがありますか。 <MA>

	全 体	療育・訓練に関する情報が少ない	療育・訓練を受けられる施設が見つからない	療育・訓練を受けられる回数が少ない	療育・訓練の内容が不十分である	療育・訓練のための費用負担が大きい	通園・通所（送り迎え）が大変である
件 数	248	74	42	85	27	37	67
%	100.0	29.8	16.9	34.3	10.9	14.9	27.0

	特にない	その他	無回答
件 数	67	20	10
%	27.0	8.1	4.0

年齢別では、小学生以下では「療育・訓練を受けられる回数が少ない」、中・高校生では「特にない」が最も多くなっています。なお、全ての年代で「療育・訓練に関する情報が少ない」が2番目に多くなっています。

手帳別では、「療育・訓練を受けられる回数が少ない」や「療育・訓練に関する情報が少ない」などが多いほか、精神障害児と身体障害児で「送り迎えが大変」との回答も多くみられます。

■表頭：【Q36】あなたには、療育や訓練について、現在困っていることや以前に困っていたことがありますか。

(上段：件数、下段：横%)

年齢別	合計	療育・訓練の情報が少ない	受けられる施設が見つからない	受けられる回数が少ない	療育・訓練の内容が不十分	費用負担が大きい	通園・通所(送り迎え)が大変	特にない	その他	無回答
全体	240 100.0	73 30.4	41 17.1	83 34.6	26 10.8	36 15.0	64 26.7	65 27.1	19 7.9	9 3.8
0～6歳(未就学)	55 100.0	17 30.9	4 7.3	21 38.2	9 16.4	5 9.1	15 27.3	15 27.3	4 7.3	1 1.8
7～12歳(小学生)	101 100.0	32 31.7	20 19.8	47 46.5	10 9.9	14 13.9	30 29.7	21 20.8	7 6.9	3 3.0
13～15歳(中学生)	48 100.0	14 29.2	11 22.9	8 16.7	5 10.4	8 16.7	9 18.8	16 33.3	4 8.3	3 6.3
16～18歳(高校生)	36 100.0	10 27.8	6 16.7	7 19.4	2 5.6	9 25.0	10 27.8	13 36.1	4 11.1	2 5.6
手帳別										
身体障害者手帳	85 100.0	23 27.1	11 12.9	32 37.6	5 5.9	11 12.9	27 31.8	19 22.4	7 8.2	5 5.9
愛の手帳	199 100.0	59 29.6	34 17.1	72 36.2	23 11.6	29 14.6	52 26.1	55 27.6	16 8.0	7 3.5
精神障害者保健福祉手帳	17 100.0	9 52.9	5 29.4	4 23.5	3 17.6	7 41.2	9 52.9		3 17.6	1 5.9
発達障害の診断を受けていない	68 100.0	22 32.4	13 19.1	29 42.6	9 13.2	15 22.1	17 25.0	15 22.1	10 14.7	1 1.5
難病(特定疾患)の診断を受けていない	13 100.0	6 46.2	4 30.8	6 46.2	4 30.8	1 7.7	5 38.5	4 30.8		1 7.7

④ 学校や教育について困っていること (問37)

学校や教育について困っていることは「学校卒業後の進路に不安がある」が58.1%と最も多く、ついで「通学(送り迎え)が大変である」29.8%、「今後の学校選択で迷っている」27.4%などとなっています。

■【Q37】あなたには、学校や教育について、困っていることはありますか。 <MA>

	全体	教育に関する情報が少ない	教職員の指導の仕方が心配	学校のカリキュラムが本人に合わない	友だちとの関係づくりに問題がある	今後の学校選択で迷っている	学校卒業後の進路に不安がある
件数	248	34	51	13	24	68	144
%	100.0	13.7	20.6	5.2	9.7	27.4	58.1

	通学(送り迎え)が大変である	親などの介助者が必要	学校等のバリアフリーが十分でない	特にない	その他	無回答
件数	74	48	12	44	12	6
%	29.8	19.4	4.8	17.7	4.8	2.4

⑤ 卒業後の進路希望 (問38)

卒業後の進路希望は「わからない」が35.5%と最も多く、ついで「福祉的就労をしたい」27.0%、「正職員として働きたい」25.4%などとなっています。

■ 【Q38】 学校卒業後は、どのような進路を希望していますか。 <MA>

	全 体	大学・短大 などに進学 したい	専門学校な どに進学し たい	職業訓練学 校などに進 学したい	正職員とし て働きたい	パート・ア ルバイトな どで働きた い
件 数	248	28	17	30	63	24
%	100.0	11.3	6.9	12.1	25.4	9.7

	福祉的就労 をしたい (就労移 行・就労継 続支援事業 所(作業 所))	福祉的就労 以外の通所 施設に通い たい	わからない	その他	無回答
件 数	67	37	88	9	5
%	27.0	14.9	35.5	3.6	2.0

⑥ 障害者が一般就労するために必要なこと（問39）

障害者が一般就労するために必要なことでは、「障害特性に合った職業・雇用の拡大」が70.6%と最も多く、ついで「職場の障害理解の促進」67.7%、「職場での良好な人間関係」63.7%などとなっています。

■【Q39】障害者が一般就労するためには、どのようなことが必要だと思いますか。 <MA>

	全体	就労のための総合的な相談支援	働く能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	企業の障害者雇用への理解促進
件数	248	145	152	132	175	126	152
%	100.0	58.5	61.3	53.2	70.6	50.8	61.3

	職場の障害理解の促進	職場環境のバリアフリー化	障害に対応した柔軟な勤務体系	職場に定着するための支援	通勤手段や通勤支援の確保	職場での良好な人間関係	働く時間以外の楽しみ
件数	168	61	137	128	105	158	97
%	67.7	24.6	55.2	51.6	42.3	63.7	39.1

	特にない	その他	無回答
件数	7	12	6
%	2.8	4.8	2.4

年齢別・手帳別でも、ほとんどの分類で「障害特性に合った職業・雇用の拡大」
 や「職場の障害理解の促進」を求める声が特に多くなっています。

また、高校生では「企業の障害者雇用への理解促進」、発達障害児や難病患者では「働く能力を身につけるための職業訓練」なども多くなっています。

■表頭：【Q39】障害者が一般就労するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 (上段：件数、下段：%)

	合計	就労のための総合的な相談	働く能力を身につけるため	職場を理解するための就労	障害特性に合った職業・雇	障害者向けの求人情報の提	企業の障害者雇用への理解	職場の障害理解の促進	職場環境のバリアフリー化	障害に対応した柔軟な勤務	職場に定着するための支援	通勤手段や通勤支援の確保	職場での良好な人間関係	働く時間以外の楽しみ(友)	特にな	その他	無回答
年齢別																	
全体	240 100.0	142 59.2	146 60.8	130 54.2	171 71.3	124 51.7	150 62.5	164 68.3	58 24.2	133 55.4	125 52.1	104 43.3	153 63.8	94 39.2	7 2.9	11 4.6	6 2.5
0～6歳(未就学)	55 100.0	29 52.7	33 60.0	26 47.3	38 69.1	24 43.6	31 56.4	41 74.5	17 30.9	34 61.8	21 38.2	24 43.6	34 61.8	16 29.1	3 5.5	2 3.6	1 1.8
7～12歳(小学生)	101 100.0	66 65.3	67 66.3	59 58.4	74 73.3	59 58.4	66 65.3	68 67.3	28 27.7	62 61.4	59 58.4	52 51.5	68 67.3	46 45.5	1 1.0	3 3.0	2 2.0
13～15歳(中学生)	48 100.0	26 54.2	30 62.5	29 60.4	34 70.8	28 58.3	29 60.4	34 70.8	5 10.4	23 47.9	29 60.4	16 33.3	33 68.8	21 43.8	3 6.3		2 4.2
16～18歳(高校生)	36 100.0	21 58.3	16 44.4	16 44.4	25 69.4	13 36.1	24 66.7	21 58.3	8 22.2	14 38.9	16 44.4	12 33.3	18 50.0	11 30.6		6 16.7	1 2.8
手帳別																	
身体障害者手帳	85 100.0	48 56.5	43 50.6	40 47.1	60 70.6	38 44.7	52 61.2	59 69.4	36 42.4	52 61.2	36 42.4	43 50.6	52 61.2	33 38.8	2 2.4	3 3.5	3 3.5
愛の手帳	199 100.0	114 57.3	123 61.8	112 56.3	138 69.3	97 48.7	119 59.8	133 66.8	43 21.6	101 50.8	105 52.8	82 41.2	127 63.8	79 39.7	7 3.5	11 5.5	5 2.5
精神障害者保健福祉手帳	17 100.0	13 76.5	12 70.6	8 47.1	15 88.2	14 82.4	11 64.7	13 76.5	4 23.5	11 64.7	13 76.5	8 47.1	14 82.4	9 52.9		1 5.9	
発達障害の診断を受けてい	68 100.0	45 66.2	56 82.4	44 64.7	53 77.9	47 69.1	48 70.6	56 82.4	10 14.7	41 60.3	45 66.2	27 39.7	51 75.0	28 41.2		3 4.4	1 1.5
難病(特定疾患)の診断を	13 100.0	8 61.5	8 61.5	5 38.5	6 46.2	5 38.5	6 46.2	6 46.2	4 30.8	6 46.2	4 30.8	8 61.5	8 61.5	5 38.5	1 7.7		

(10) 切れ目ない支援について

① 情報の引き継ぎについて (問40)

ライフステージの節目で障害者自身の情報が引き継がれず困ったことがあるかでは、「ない」が71.0%、「ある」が23.4%となっています。

■【Q40】ライフステージの節目であなた自身の情報が引き継がれず困ったことはありますか。〈SA〉

	全 体	あ る	な い	無回答
件 数	248	58	176	14
%	100.0	23.4	71.0	5.6

② 情報が引き継がれず困った時期 (前問で「ある」と回答した人のみ・問41)

情報が引き継がれず困った時期は「保育園等から小学校に入学するとき」が56.9%と最も多く、ついで「小学校から中学校へ進学するとき」が41.4%となっています。

■【Q41】(問40で「ある」と回答した方のみ) 困ったのはいつですか。〈MA〉 《非該当：190件をのぞく》

	全 体	保育園等 に入園す るとき	保育園等 から小学 校に入学 するとき	小学校か ら中学校 へ進学す るとき	中学校か ら高等学 校へ進学 するとき	高等学校 から大学 等へ進学 するとき	就労する とき
件 数	58	17	33	24	10	2	2
%	100.0	29.3	56.9	41.4	17.2	3.4	3.4

(11) 施策について

③ 今後力を入れてほしい施策（問42）

今後、行政に力を入れてほしい施策は「雇用・就労支援の充実」が61.3%と最も多く、ついで「年金や手当などの経済的支援の充実」60.9%、「障害に対する理解の促進」58.5%などとなっています。

■【Q42】あなたは今後、行政にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。 <MA>

	全 体	障害に対する理解の促進	保健・医療の充実	教育・育成の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	訪問系サービスの充実
件 数	248	145	107	117	152	90	35
%	100.0	58.5	43.1	47.2	61.3	36.3	14.1

	日中活動系サービスの充実	放課後等デイサービスの拡充	児童発達支援センターの拡充	児童発達支援事業所の拡充	移動支援の充実（通勤・通学を含む）	短期入所の充実	緊急一時保護の充実
件 数	54	81	65	47	97	67	79
%	21.8	32.7	26.2	19.0	39.1	27.0	31.9

	福祉機器・補装具などの充実	コミュニケーション支援の充実や情報保障の確保	グループホームなどの整備	入所施設の充実	障害者向けの住まいの確保	建物・道路などのバリアフリー化	趣味やスポーツ・レクリエーション活動の充実
件 数	35	61	73	57	87	38	63
%	14.1	24.6	29.4	23.0	35.1	15.3	25.4

	年金や手当などの経済的支援の充実	特にない	その他	無回答
件 数	151	9	14	9
%	60.9	3.6	5.6	3.6

ねんれいべつ てちょうべつ こよう しゅうろうしえん じゅうじつ ねんきん てあて けいざいてきしえん
**年齢別・手帳別でも「雇用・就労支援の充実」や「年金や手当などの経済的支援
 の充実」、「障害に対する理解の促進」などへの要望が全体的に多くなっています。**
 また、未就学児や身体障害児、難病患者などでは「保健・医療の充実」への要望
 が、小学生以下では「教育・育成の充実」への要望がやや多くなっています。

■表頭：【Q42】あなたは今後、行政にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。
 (上段：件数、下段：割合)

※特になし、その他の欄は割愛

年齢別	合計	障害に 対する 理解の 促進	保健・医 療の充 実	教育・育 成の充 実	雇用・就 労支援 の充 実	相談支 援体制 の充 実	訪問系 サービスの 充実	日中活動 系サービ スの充実	放課後等 ダイヤ サービスの 充実	児童発達 支援セン ターの拡 充	児童発達 支援事業 所の拡充	移動支 援の充 実(通 勤・通 学)	短期入 所等の 充実	緊急一時 保護の 充実	福祉機 器・補 装具 などの 充 実	コミュ ニケー ション 支援の 充 実	グルー プホ ーム の整 備	入所施設 の充 実	障害者 向け の住 居の 確保	建物・道 路など のバ リア フリー	趣味や スポーツ レク レエ	年金や 手当 などの 経済 的支 援	
全体	240 100.0	141 58.8	105 43.8	114 47.5	149 62.1	88 36.7	34 14.2	53 22.1	78 32.5	64 26.7	46 19.2	94 39.2	65 27.1	77 32.1	33 13.8	60 25.0	72 30.0	55 22.9	85 35.4	37 15.4	61 25.4	148 61.7	
0～6歳 (未就学)	55 100.0	33 60.0	31 56.4	31 56.4	28 50.9	20 36.4	9 16.4	9 16.4	21 38.2	23 41.8	15 27.3	20 36.4	12 21.8	18 32.7	11 20.0	11 20.0	12 21.8	15 27.3	15 27.3	9 16.4	8 14.5	33 60.0	
7～12歳 (小学生)	101 100.0	63 62.4	47 46.5	57 56.4	64 63.4	42 41.6	17 16.8	24 23.8	42 41.6	32 31.7	28 27.7	46 45.5	32 31.7	34 33.7	14 13.9	27 26.7	34 33.7	27 26.7	42 41.6	19 18.8	29 28.7	58 57.4	
13～15歳 (中学生)	48 100.0	29 60.4	16 33.3	17 35.4	34 70.8	14 29.2	5 10.4	11 22.9	8 16.7	5 10.4	1 2.1	18 37.5	9 18.8	14 29.2	3 6.3	14 29.2	18 37.5	5 10.4	17 35.4	4 8.3	4 8.3	34 70.8	
16～18歳 (高校生)	36 100.0	16 44.4	11 30.6	9 25.0	23 63.9	12 33.3	3 8.3	9 25.0	7 19.4	4 11.1	2 5.6	10 27.8	12 33.3	11 30.6	5 13.9	8 22.2	8 22.2	8 22.2	11 30.6	5 13.9	7 19.4	23 63.9	
手帳別																							
身体障害 者手帳	85 100.0	49 57.6	49 57.6	41 48.2	42 49.4	33 38.8	23 27.1	19 22.4	30 35.3	24 28.2	15 17.6	35 41.2	35 41.2	37 43.5	31 36.5	18 21.2	24 28.2	28 32.9	24 28.2	30 35.3	18 21.2	48 56.5	
要の手帳	199 100.0	115 57.8	82 41.2	90 45.2	125 62.8	74 37.2	31 15.6	47 23.6	71 35.7	53 26.6	39 19.6	80 40.2	61 30.7	72 36.2	25 12.6	50 25.1	67 33.7	52 26.1	73 36.7	24 12.1	51 25.6	121 60.8	
精神障害 者保健福 祉手帳	17 100.0	10 58.8	8 47.1	10 58.8	12 70.6	8 47.1	3 17.6	6 35.3	6 35.3	7 41.2	5 29.4	7 41.2	5 29.4	4 23.5		10 58.8	4 23.5	3 17.6	8 47.1	3 17.6	7 41.2	14 82.4	
発達障害 の診断を 受けてい る手帳	68 100.0	47 69.1	31 45.6	35 51.5	57 83.8	33 48.5	10 14.7	20 29.4	26 38.2	29 42.6	17 25.0	32 47.1	13 19.1	21 30.9	6 8.8	30 44.1	21 30.9	9 13.2	35 51.5	8 11.8	22 32.4	47 69.1	
難病(特 定疾患) の診断を 受けてい る手帳	13 100.0	9 69.2	8 61.5	5 38.5	7 53.8	6 46.2	2 15.4	1 7.7	5 38.5	3 23.1	2 15.4	2 15.4	3 23.1	3 23.1	3 23.1	2 15.4	1 7.7	3 23.1	1 7.7	2 15.4	1 7.7	6 46.2	

第3章 自由意見のまとめ

市の障害者施策に関する意見や要望、回答者自身の将来に対する不安など、自由に記載していただきました。主な回答は以下のとおりです。(内容は要約・省略しています。)

1 18歳以上向けの障害者アンケートより

① 福祉サービス

回答	年齢・性別 障害の種類	回答者
短期入所、緊急一時のベッド数を増やしてほしい。レスパイトでも利用して、介助者の休養を確保したい。	40代・女性 身体障害	ご家族
両親が高齢になってきているので、親亡き後、自分で衣食住が賄えるような所があるか不安である。	20代・男性 知的障害	ご本人
グループホームや入所施設をもっと増やしてほしい。	20代・男性 知的障害	ご本人
夜眠れなかったり、不安に襲われる時のために、土日夜間に相談できる場所がほしい。	40代・男性 精神障害	ご本人
自分と同じ難病を持つ人との交流の場がほしい。市のホームページ上でも、交流の場があればいいと思う。	40代・女性 難病	ご本人

② 経済事情・経済的支援

回答	年齢・性別 障害の種類	回答者
現在、作業所で働いているが、工賃が少なく、また疲労のため、ひとりの力では生活できない。	20代・男性 精神障害	ご本人
お金の管理ができないため、貯金がなかなかできない。	30代・女性 精神障害	ご本人
グループホームなどへの入居時に利用料の補助があれば経済的に安心できる。	70代・女性 身体障害	ご家族
現在、賃貸住宅に住んでおり、家賃の負担が不安。また、今年定年なので、生活面、健康状態など、先のことが心配である。	60代・男性 身体障害	ご本人
復職できたものの、健常者と同じ評価制度のため、収入が減少して、将来の生活に不安がある。また、医療費が増していくことも心配である。	50代・男性 身体障害	ご本人

③ 就労・社会参加

回答	年齢・性別 障害の種類	回答者
就労した場合、最初のうちは良くしてくれても、慣れてくると態度が急変し、いじめが始まるのがとても不安である。こうしたことを今までに何回も経験した。	40代・女性 知的障害	ご本人
市主催の催しには、全ての障害者が参加できるよう配慮してほしい（視覚障害者には音声や点字、聴覚障害者には文字情報や手話等）。また、それを担う側の育成、環境整備も必要である。	50代・女性 難病	ご本人
もっと障害者と健常者の交流の場を設けてほしい。	50代・男性 精神障害	ご本人
障害の身になって一番困るのは外出先でのトイレである。特に公園などは和式ばかりで、洋式がない。	60代・女性 身体障害	ご本人
難病の患者は手帳がないため、障害者枠の仕事に全く就けない。病気をオープンにしても、受入れ先に正社員の求人はない。難病でも、健常者並みの成果を出せるなら、正社員としてしっかり働けるよう、企業への働きかけをしてほしい。あるいは、障害者枠の求人にも難病者も応募できるようにしてほしい。	40代・女性 難病	ご本人

④ 行政の対応・手続き・情報提供

回答	年齢・性別 障害の種類	回答者
障害者、高齢者等に対する支援情報をタイムリーに提供してほしい。	80代・男性 身体障害	ご本人
権利擁護について何も知らない。全ての市民に知らせてほしい。	60代・女性 難病	ご本人
障害者福祉課の窓口の待ち時間を短くしてほしい。	40代・女性 精神障害	ご本人
障害者になると情報不足となり、人付き合いも難しい。市の支援サービスや手当など、知らない人も多い。	60代・女性 身体障害	ご本人

⑤ 心身の状態

かいとう 回答	ねんれい せいべつ 年齢・性別 しょうがい しゅるい 障害の種類	かいとうしゃ 回答者
しょうがいしゃ 障害者になってから気持ちが沈みがちになった。この気持ちが一生続くのだろう。	だい じよせい 70代・女性 しんたいしょうがい 身体障害	ほんにん ご本人
ほんにん 本人は片時も目を離せない状態で、見た目以上に介護者のストレスが蓄積しており、老々介護に加え、将来に対する不安が強い。	だい じよせい 70代・女性 せいしんしょうがい 精神障害	かぞく ご家族
いま じゆんちよう 今は順調だが、この状態がどのくらい続くのか、いつか不具合や痛みが出ないか、将来が不安になる。	だい だんせい 60代・男性 しんたいしょうがい 身体障害	ほんにん ご本人

⑥ 医療・保健

かいとう 回答	ねんれい せいべつ 年齢・性別 しょうがい しゅるい 障害の種類	かいとうしゃ 回答者
ざいたくいりよう じゆうじつ 在宅医療を充実してほしい。在宅で、ひとりで死を迎えられるよう願っている。	だい じよせい 70代・女性 しんたいしょうがい 身体障害	ほんにん ご本人
いりようきかん じゆしん 医療機関への受診をしやすくしてほしい。検査機器など、健常者に合わせてあるので苦労することがある。	だい じよせい 80代・女性 しんたいしょうがい 身体障害	ほんにん ご本人
ね たきりなどになった時、訪問サービスや医師の往診が確実に受けられるか不安である。	だい じよせい 60代・女性 しんたいしょうがい 身体障害	ほんにん ご本人

⑦ 障害理解

かいとう 回答	ねんれい せいべつ 年齢・性別 しょうがい しゅるい 障害の種類	かいとうしゃ 回答者
しょうがいしゃ 障害者への理解者が増える社会になるよう、日常の教育が必要である。	だい だんせい 70代・男性 しんたいしょうがい 身体障害	ほんにん ご本人
ぎょうせい 行政には障害者への理解・雇用促進を示す広報活動を、企業の方々には障害者理解を踏まえた人材の育成、能力開発をお願いしたい。	だい じよせい 40代・女性 せいしんしょうがい 精神障害	かぞく ご家族
ヘルプマークを付けているが、マークのことを知らない人が多い。	だい じよせい 30代・女性 ちてきしょうがい 知的障害	ほんにん ご本人

⑧ その他

<p>かいとう 回答</p>	<p>ねんれい せいべつ 年齢・性別 しょうがい しゅるい 障害の種類</p>	<p>かいとうしゃ 回答者</p>
<p>はちおうじ ひろす ちゅうしんしがいち ちから い かん 八王子は広過ぎて、中心市街地ばかりに力を入れていると感じ る。バスを主な移動手段とする人には不便であり、外出しにく い。</p>	<p>だい じょせい 80代・女性 しんたいしょうがい 身体障害</p>	<p>ほんにん ご本人</p>
<p>くるまいす とうりょうびょう わたし せつしゅ ひび 車椅子で糖尿病の私はインシュリンを接種する日々であり、 もし災害があったとき、どうなるのか不安である。</p>	<p>だい だんせい 70代・男性 しんたいしょうがい 身体障害</p>	<p>ほんにん ご本人</p>

2 18歳未満とその保護者向けの障害者アンケートより

① 福祉サービス

かいとう 回答	ねんれい せいべつ 年齢・性別 しょうがい しゅるい 障害の種類
ショートステイに入りたくても半年近く取れなかった。レスパイトと言うとショートは取れないのだろうか。	0～6歳・女性 知的障害 身体障害
家族が年老いて介助が困難になった時、障害児の衣食住と就労、誰が介助するのかということが心配である。	7～12歳・男性 精神障害 発達障害
障害児が周りを気にしなくても良いような公園や室内遊び場を作っほしい。	0～6歳・男性 身体障害 知的障害
医療ケアに対応できる放課後等デイサービスを増やしてほしい。	0～6歳・男性 身体障害 知的障害
移動支援を15歳以下の障害児でも利用できるようにしてほしい。	7～12歳・男性 知的障害
眼科や耳鼻科等にかかる際、障害に不慣れな所が多い。市内にも知的障害児が気兼ねなく通院できる施設がほしい。	0～6歳・男性 知的障害

② 経済的事情・経済的支援

かいとう 回答	ねんれい せいべつ 年齢・性別 しょうがい しゅるい 障害の種類
複数の家族が手帳所持者だが、軽度なので経済的支援はなく、日常生活は大変である。重度ではなくても、軽度の障害者が家族の中に複数いる場合の経済的支援がほしい。	13～15歳・男性 知的障害
親亡き後の生活や、金銭管理のことが心配である。	16～18歳・女性 知的障害
高校卒業後は作業所などで働くが、かなりの低賃金であるため、年金等と合わせても生活していけるのか、とても不安に感じる。	16～18歳・男性 知的障害
企業就労ができなければ、また仕事を続けられなければ、生活ができなくなりそうで不安である。	16～18歳・男性 知的障害

③ 教育・療育

<p>かいとう 回答</p>	<p>ねんれい せいべつ 年齢・性別 しょうがい しゅるい 障害の種類</p>
<p>ちゅうがっこう しえんきゅうせつちかず ふ 中学校の支援級設置数を増やしてほしい。</p>	<p>7～12歳・男性 ちてきしょうがい 知的障害 はつたつしょうがい 発達障害</p>
<p>あんしん う い もら ようちえん つうしょせつ りよう 安心して受け入れて貰える幼稚園などがなく、通所施設を利用することになると、集団生活を経験する機会がなくなってしまう。</p>	<p>0～6歳・女性 ちてきしょうがい 知的障害</p>
<p>しょうがっこう ばしょ ほんにん あ 小学校をどこにするのか、どんな場所があるのか、本人にはどこが合っているのか、分かりません。</p>	<p>0～6歳・男性 しんたいしょうがい 身体障害 ちてきしょうがい 知的障害 なんびょう 難病</p>
<p>いわずのボーダーラインの子などの学校生活でのフォローや、進学、就労支援、手当などの充実を希望します。</p>	<p>13～15歳・男性 せいしんしょうがい 精神障害</p>

④ 行政の対応・手続き・情報提供

<p>かいとう 回答</p>	<p>ねんれい せいべつ 年齢・性別 しょうがい しゅるい 障害の種類</p>
<p>りよう いちらんひょう さくせい しゅうち 利用できるサービスの一覧表のようなものを作成し、周知してほしい。</p>	<p>13～15歳・男性 ちてきしょうがい 知的障害</p>
<p>しょうがいふくしか まどぐち たいおうにんずう すく す せんもんか はいち 障害福祉課の窓口の対応人数が少な過ぎる。専門家の配置をしてほしい。</p>	<p>7～12歳・男性 ちてきしょうがい 知的障害</p>
<p>しょうがいしゃふくしか い うけつけ もら しょういとう やくしょ 障害者福祉課まで行かないと受付して貰えない書類等があり、役所まで行くのが大変である。</p>	<p>7～12歳・男性 ちてきしょうがい 知的障害</p>
<p>まどぐち じしゅうりよう しごと ま あ しゅう にち よ 窓口が17時終了なので、仕事があると間に合わない。週1日でも良いので、15～30分でも延長受付してくれる日があると助かる。</p>	<p>16～18歳・男性 しんたいしょうがい 身体障害 ちてきしょうがい 知的障害 なんびょう 難病</p>

⑤ 介助者

かいとう 回 答	ねんれい せいべつ 年齢・性別 しょうがい しゅるい 障害の種類
しょうがいのある子を持つ親のために、生涯に渡って相談に乗ってくれる せんもんか がつと 助かる。 専門家がいると助かる。	16～18歳・男性 しんたいしょうがい 身体障害
しょうがいしゃ つど 障害者の集いなどがあると じょうほうこうかん 情報交換できて良い。	7～12歳・男性 ちてきしょうがい 知的障害
かいごしゃ しごと 介護者が仕事をしている場合、がっこう 学校→つうしょ 通所になることで、かいごしゃ 自由 に動ける時間が大幅に短くなるため、つうしょしせつ 通所施設の時間外に預けられる ところ なん 所や、何らかの制度を かんが 考えてほしい。	16～18歳・女性 しんたいしょうがい 身体障害 ちてきしょうがい 知的障害

⑥ 障害理解

かいとう 回 答	ねんれい せいべつ 年齢・性別 しょうがい しゅるい 障害の種類
きょういくげんば 教育現場で、せんせい 先生方の はつたつしょうがい 発達障害児に たい 対しての理解・にんしきぶそく 認識不足を かん じることが多く、それでは子どもたちにも浸透しないばかりか、いじめや ななま 仲間はずれを たいじん 大人が 気づ 気付いてあげることも むずか 難しいと かん じる。	0～6歳・男性 ちてきしょうがい 知的障害
さべつ 差別は だれ 誰の ころ 心にもあるが、たようせい 多様性を 認めてもらい、こま 困っている人 を へ 減らしてもらいたい。	13～15歳・男性 ちてきしょうがい 知的障害 はつたつしょうがい 発達障害
はつたつしょうがい 発達障害ですが、ただのわがまま、どりよく 努力が たり 足りない と ごと 誤解され、がっこう のせんせい 先生や クラスメイト、ごきんじょ 近所などから 理解されず、ほんにん 本人も 家族も つ らい目に 何度も 遭いました。	7～12歳・男性 せいしんしょうがい 精神障害 はつたつしょうがい 発達障害

⑦ その他

かいとう 回 答	ねんれい せいべつ 年齢・性別 しょうがい しゅるい 障害の種類
しょうがいしゃこよう 障害者雇用を進めたいのであれば、だいきぎょう 大企業や おおてこうりてん 大手小売店だけではなく、いっばん 一般の ちゅうしょうきぎょう 中小企業にまで 広く 浸透させる 努力が 必要である。	7～12歳・男性 せいしんしょうがい 精神障害 はつたつしょうがい 発達障害
けんじょうしゃ 健全者（小学生）向けの スポーツ教室や レクリエーションは よく 見 かけるが、それらには 参加できない。しょうがいしゃ 障害者向けに おやこいっしょ 親子一緒に 参加で きるようなものがあると、外に出る機会ができて良いと いつも 思う。	7～12歳・男性 せいしんしょうがい 精神障害 はつたつしょうがい 発達障害
しょうがくせいむ 小学生向けの ST、OT が 受けられる 場所が ほしい。	7～12歳・女性 ちてきしょうがい 知的障害 はつたつしょうがい 発達障害

第4章 アンケート調査票

1 「18歳以上向けの障害者アンケート」調査票

18歳以上の方

はちおうじし しょうがいしゃ ちようさ 八王子市 障害者アンケート調査

～ 調査へのご協力をお願いします ～

日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
八王子市では、平成29年度に「八王子市障害者計画」、「八王子市障害福祉計画」及び「八王子市障害児福祉計画」を策定するにあたって、障害のある方の生活実態やニーズなどを把握するために、アンケート調査を実施することになりました。つきましては、調査への協力をお願いいたします。

この調査は無記名郵送方式で実施し、調査結果は統計的に処理されますので、回答した方が特定されたり、回答内容が明らかになることはありません。調査結果は、市の障害者施策の充実のための資料としてのみ使用され、それ以外の目的で使用されることはありません。

この調査は、障害のある方の中から、無作為で選ばせていただいた方にお送りしています。皆さまの貴重なご意見を、ぜひ計画に反映したいと思っております。この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成29年5月 八王子市 福祉部 障害者福祉課

1 ご本人について

問1 この調査票にご回答いただくのはどなたですか。(○はひとつ)

1 あて名ご本人(ご本人の回答を他の方が代筆する場合は含みません)

2 ご家族の方

3 その他()

※ この調査票で「あて名」とあるのは、**あて名ご本人のことです。**

問2 あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)

1 男性

2 女性

問3 あなたの年齢をお聞きます。平成29年4月1日現在の満年齢をお書きください。

歳

問4 あなたが今お住まいの町名をお聞きます。
※地域によるサービス利用の現状等を把握するためにお聞きしています。

例： 元本郷町 南大沢 など

ご回答にあたって

- ① 封筒のあて名ご本人についてご返してください。(この調査票で「あなた」とあるのは、あて名ご本人のことです)
- ② ご本人が障害や病状などの理由で回答できない場合は、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご返してください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお返ください。「その他」に回答する場合は、その内容を()内にお書きください。回答を記入していただく説明もありますので、説明の指示にしたがってご記入ください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。

記入した調査票は、封筒の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、**平成29年6月5日(月)まで**に、ポストに投函してください。

お問い合わせ

八王子市 福祉部 障害者福祉課
電話 042-620-7245
FAX 042-623-2444

1

問5 あなたが障害（難病（特定疾患）を含みます）を受けたのは、満何歳のころですか。（〇はひとつ）

※難病（特定疾患）とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。以下、「障害」という語句には難病（特定疾患）を含むものとします。

- 1 0～5歳
- 2 6～11歳
- 3 12～17歳
- 4 18～39歳
- 5 40～64歳
- 6 65歳以上
- 7 覚えていない

問6 あなたが持っている手帳をお聞きます。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級・程度にも〇をつけてください。また、発達障害等の診断を受けているかどうかもお答えください。（〇はいくつでも）

- 1 身体障害者手帳（1級 2級 3級 4級 5級 6級）
 - 2 装の手帳（1度 2度 3度 4度）
 - 3 精神障害者保健福祉手帳（1級 2級 3級）
 - 4 発達障害の診断を受けている
 - 5 高次脳機能障害の診断を受けている
 - 6 難病（特定疾患）の診断を受けている
 - 7 手帳は持っていない
- ※発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

問7 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きます。障害の種類は何ですか。（〇はいくつでも）

- 1 視覚障害
- 2 聴覚・平衡機能障害
- 3 音声・言語・そしゃく機能障害
- 4 肢体不自由
- 5 内部障害

2 医療について

問8 あなたは現在、障害に関する法律に違反することによって医療機関を受診していますか。（〇はひとつ）

- 1 受診していない
- 2 通院している
- 3 入院している
- 4 自宅で住診を受けている
- 5 その他（ ）

問9 あなたには、医療に関して困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

- 1 医療機関が家の近くにない
- 2 障害についての専門の医療機関がない
- 3 休日や夜間に予約してくれる医療機関がない
- 4 通院のための交通機関が確保しにくい
- 5 通院のための交通機関が整備されていない
- 6 医療機関がバリアフリー化されていない
- 7 気軽に相談できる場がない
- 8 治療の説明が十分理解できない
- 9 医療費の負担が大きい
- 10 障害が理由で医療拒否されたことがある
- 11 特にない
- 12 その他（ ）

3 家族・介助について

問10 あなたは現在、どのように暮らしていますか。（〇はひとつ）

- 1 家族と同居している
- 2 ひとりで暮らしをしている
- 3 グループホームなどに入居している
- 4 施設に入居している
- 5 その他（ ）

問11-1 あなたの世帯の一番多い収入は何ですか。(〇はひとつ)

※世帯とは、あなたと同じ家で暮らし、同じ収入で生活している方々のことです。

- 1 あなた自身の給与・賃金・工賃
- 2 ご家族の給与・賃金・工賃
- 3 事業収入(自営業など)
- 4 年金・手当
- 5 生活保護
- 6 その他()

問11-2 あなたの世帯では問11-1以外にどのような収入がありますか。(〇はいくつでも)

- 1 あなた自身の給与・賃金・工賃
- 2 ご家族の給与・賃金・工賃
- 3 事業収入(自営業など)
- 4 年金・手当
- 5 生活保護
- 6 その他()
- 7 特にない

問12 あなたは次のような日常生活に、介助を必要としていますか。(〇はいくつでも)

- 1 食事をする
- 2 排せつをする
- 3 着がえをする
- 4 入浴をする
- 5 掃除をする
- 6 洗濯をする
- 7 食事をつくる
- 8 家の中で移動する
- 9 外出する
- 10 コミュニケーションをとる(読み書き・電話など)
- 11 薬を飲んだり管理する
- 12 お金を管理する
- 13 日常生活に必要なことを判断したり、決めたりする
- 14 介助は必要としていない
- 15 その他()

問13 あなたを介助しているのは、主にどなたですか。(〇はひとつ)

- 1 母親
- 2 父親
- 3 配偶者
- 4 兄弟姉妹
- 5 子ども
- 6 その他親族
- 7 ホームヘルパー
- 8 施設などの職員
- 9 介助は必要としていない
- 10 その他()

問14 問13で「家族が介助している(1~6)」と回答した方にお聞きします。介助者の方はどのようなことで困っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 介助者自身の健康に不安がある
- 2 身体的な負担が大き
- 3 精神的な負担が大き
- 4 経済的な負担が大き
- 5 かわりの介助を頼める人がいない
- 6 緊急時の対応に不安がある
- 7 長期の旅行や外出ができない
- 8 将来の見通しに不安がある
- 9 特にな
- 10 その他()

問15 問13で「家族が介助している(1~6)」と回答した方にお聞きします。主な介助者の方が何らかの理由で介助できない場合、あなたはどのようにしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 同居の家族に介助してほしい
- 2 別居の親族に介助してほしい
- 3 ホームヘルパーを利用したい
- 4 ショートステイを利用したい
- 5 民間の有償介助サービスを利用したい
- 6 グループホームなどに入居したい
- 7 施設に入所したい
- 8 病院に入院したい
- 9 わからない
- 10 その他()

4 日常生活について

問16 あなたは普段、自由時間に何をしておこなっていますか。
(○はいくつでも)

- 1 家族との団らん
- 2 友人・知人との交流
- 3 趣味活動・遊び
- 4 スポーツ・運動・レクリエーション
- 5 買い物
- 6 地域の活動
- 7 障害者団体などの活動
- 8 テレビ・ラジオ
- 9 特にない
- 10 その他 ()

問17 あなたは普段、近所の人との程度のおつきあいをしていますか。
(○はひとつ)

- 1 頻しくつきあっている
- 2 たまに世間話をする程度
- 3 会えばあいさつをする程度
- 4 ほとんどつきあいはない

問18 あなたには、日常生活で困っていることはありませんか。
(○はいくつでも)

- 1 身の回りのことが十分できない
- 2 健康状態に不安がある
- 3 住まいについて困っている
- 4 外出について困っている
- 5 緊急時の対応に不安がある
- 6 就労について困っている
- 7 利用できる日中活動の場がないので困っている
- 8 余暇活動や遊びが十分できない
- 9 スポーツ・運動・レクリエーションが十分できない
- 10 経済的に不安がある
- 11 将来に不安がある
- 12 どうしてよいかわからない
- 13 ことがある
- 14 特にない
- 15 その他 ()

7

問19 あなたは普段、困ったときに誰に相談していますか。(○はいくつでも)

- 1 同居の家族
- 2 別居の家族・親族
- 3 友人・知人(障害者)
- 4 友人・知人(健常者)
- 5 近所の人
- 6 市のケースワーカー
- 7 ホームヘルパー
- 8 福祉施設の職員
- 9 医療関係者
- 10 民生委員・児童委員
- 11 身体障害者相談員・知的障害者相談員
- 12 相談支援事業所
- 13 保健所・保健センター
- 14 難病相談・支援センター
- 15 障害者団体・患者会
- 16 特にない
- 17 その他 ()

問20 あなたは、福祉サービスなどの情報を、先にどこから入手していますか。(○はいくつでも)

- 1 広報「はちおうじ」
- 2 東京都広報
- 3 市のパンフレットなど
- 4 市のホームページ
- 5 その他のホームページ
- 6 テレビ・ラジオ
- 7 新聞・書籍
- 8 SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
- 9 ツイッターやフェイスブックなど
- 10 医療機関
- 11 福祉施設
- 12 相談支援事業所
- 13 保健所・保健センター
- 14 難病相談・支援センター
- 15 障害者団体・患者会
- 16 友人や知人
- 17 特にない
- 18 その他 ()

8

問21 あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 サービスに関する情報が少ない
- 2 サービス利用の手続きが大変
- 3 利用したいサービスを利用できない
- 4 利用できる回数や日数が少ない
- 5 希望に合った事業者が見つからない
- 6 サービスの質が良くない
- 7 自分に必要なサービスがない
- 8 誰に相談すればよいかわからない
- 9 特にならない
- 10 その他 ()

5 災害について

問22 あなたは地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

- 1 ひとりでは避難できない
- 2 自分では助けを呼ぶことができない
- 3 近所に助けてくれる人がいないことが不安
- 4 自宅や避難所で必要な介助や支援を受けられるか不安
- 5 災害についての情報を得るのが難しい
- 6 通勤や通学、通所の途中で災害にあった場合の対応がわからない
- 7 避難の仕方や、避難する場所がわからない
- 8 避難所の設備が障害に対応しているか不安
- 9 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい
- 10 薬や医療的ケアを確保できるか不安
- 11 特にならない
- 12 その他 ()

9

問23 あなたは、災害のときにどのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 障害に耐えた災害情報の伝達
- 2 見守りや安否の確認
- 3 避難のための介助や支援
- 4 自宅や避難所での介助や支援
- 5 障害に対応した避難所の確保
- 6 薬や医療的ケアの確保
- 7 特にならない
- 8 その他 ()

6 住まいについて

問24 あなたのお住まいをお聞きます。(〇はひとつ)

- 1 持ち家（一戸建て）
- 2 持ち家（集合住宅）
- 3 民間賃貸住宅（一戸建て）
- 4 民間賃貸住宅（集合住宅）
- 5 公営住宅（都営・市営）
- 6 公社・公団賃貸住宅
- 7 グループホームなど
- 8 入所施設
- 9 その他 ()

問25 あなたには、住宅に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 階段の昇り降り
- 2 玄関・出入口の段差
- 3 入口や廊下が狭い
- 4 風呂が使いにくい
- 5 トイレが使いにくい
- 6 建物の老朽化
- 7 家賃など住宅費の負担
- 8 住宅を借りるのが難しい
- 9 特になく、満足している
- 10 その他 ()

10

問26 あなたは、住宅に関して行政が今後どのような取り組みを要する必要があると感じますか。(〇はいくつでも)

- 1 住宅改修費の助成を充実する
- 2 公営住宅を障害者が利用しやすいようにする
- 3 公営住宅の入居の優先権を拡充する
- 4 障害者向け住宅の整備を促進する
- 5 単身者向け住宅の整備を促進する
- 6 グループホームなどの整備を促進する
- 7 家賃の助成をする
- 8 待にない
- 9 その他()

7 外出について

問27 あなたは普段、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇はひとつ)

- 1 ほとんど毎日
- 2 週に3～5日くらい
- 3 週に1～2日くらい
- 4 月に1～3日くらい
- 5 あまり外出しない

問28 あなたは普段、どのような目的で外出していますか。(〇はいくつでも)

- 1 通勤
- 2 通学
- 3 施設への通所
- 4 通院
- 5 訓練・リハビリ
- 6 買い物
- 7 趣味活動・遊び
- 8 スポーツ・運動・レクリエーション
- 9 人との交流(入つきあい)
- 10 旅行
- 11 あまり外出しない
- 12 その他()

11

問29 あなたは普段、どのような移動手段を利用していますか。(〇はいくつでも)

- 1 徒歩
- 2 車いす
- 3 電動車いす
- 4 自転車
- 5 オートバイ
- 6 自動車(自分で運転)
- 7 自動車(自分以外が運転)
- 8 電車
- 9 路線バス
- 10 一般のタクシー
- 11 リフト付きタクシー
- 12 市のリフト付き自動車(わかこま号)
- 13 あまり外出しない
- 14 その他()

問30 あなたは、外出するとき、どのようなことで困っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 付き添ってくれる人(移動支援するヘルパーを含む)がない
- 2 歩道や道路の段差や幅横断用の信号の時間が短い
- 3 横断用の信号の時間が短い
- 4 音響式信号機の設置が十分でない
- 5 建物の段差・階段・設備
- 6 駅での移動や乗り換え
- 7 駅での券売機の利用
- 8 バスやタクシーの乗り降り
- 9 電車やバス内などでのアナウンスがわかりにくい
- 10 公共交通機関が少ない
- 11 トイレの利用
- 12 休憩場所がない
- 13 障害者用駐車場の少ない
- 14 交通費の負担
- 15 発作など突然の心身の変化
- 16 多動やこだわりのため、安全確保等が難しい
- 17 周囲の目が気になる
- 18 困ったときどうすればいいかわからない
- 19 不安
- 20 その他()

12

8 権利擁護について

問31 あなたは次のような権利擁護の取り組みを知っていますか。
(○はひとつ)

名称と内容	回答はどちらに ↓
<p>① 成年後見制度 高齢者や障害者など、判断能力が十分ではない方の権利を守る制度です。成年後見人などが契約や手続などを代行したり、本人が誤って結んだ契約を取り消したりします。</p>	<p>1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない</p>
<p>② 地域福祉権利擁護事業 高齢者や障害者など、判断能力が十分ではない方の福祉サービスの利用などを支援する制度(福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスなど)です。利用契約を結び、支援計画に沿って支援を行います。</p>	<p>1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない</p>
<p>③ 障害を理由とする差別の解消に關する法律(差別解消法) 障害のある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会を目指して、平成28年4月1日にスタートした法律です。障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することの禁止や、合理的配慮を提供することを規定しています。</p>	<p>1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない</p>
<p>④ 障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例(差別禁止条例) 市民が障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら共に安心して暮らすことができる社会の実現に寄与することを目的として、市民が障害に対して理解を深めること、差別を禁止すること、差別があったときに相談できる仕組みなどを規定しています。</p>	<p>1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない</p>

13

<p>⑤ 八王子市障害者虐待防止センター 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律により、あなたが養護者や福祉施設の従事者、会社の使用者から、叩かれたり、罵倒にされたりするなどの虐待があったときに相談などをすることができるとする虐待防止センターを設置しています。</p>	<p>1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない</p>
--	--

問32 あなたは成年後見制度を利用していますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思っていますか。(○はひとつ)

- 1 利用している
2 今後利用したい
3 利用したくない
4 わからない

問33 あなたは地域福祉権利擁護事業を利用していますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思っていますか。(○はひとつ)

- 1 利用している
2 今後利用したい
3 利用したくない
4 わからない

問34 あなたはこれまでに、障害があるためにあきらめたり、できなかったりしたことがありますか。(○はいくつでも)

- 1 進学
2 就職
3 恋愛
4 結婚
5 出産・育児
6 人づきあい
7 旅行や外出
8 おしゃべり
9 趣味活動・遊び
10 スポーツ・運動・レクリエーション
11 特になし
12 その他()

14

問35 あなたや家族の方は、あなたの障害のことで差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(○はひとつ)

- 1 いつも感じる
- 2 ときどき感じる
- 3 あまり感じない
- 4 まったく感じない

問36 問35で「1 いつも感じる」、「2 ときどき感じる」と回答した方にお聞きします。差別や人権侵害を受けていると感じるのはどのようなときですか。具体的に教えてください。

問37 あなたは、障害による差別や人権侵害をなくすために、どのようなことが必要だと思いますか。具体的に教えてください。

問38 あなたが差別を受けたときや虐待があったときは、市や相談支援事業者に相談などをすることができません。この制度があることで、あなたは安心して暮らすことができますか。(○はひとつ)

※相談支援事業者とは、障害者生活支援センター「ひあ・らいふ」、相談支援センター「サポート南多摩」、相談支援センター「八王子地域生活支援室高尾」、地域活動支援センター「あくせす」、相談支援センター「待夢」の5つを指します。

- 1 安心できる
- 2 少し安心できる
- 3 安心できない
- 4 わからない

9 就労について

問39 あなたは平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(○はひとつ)

- 1 一般就労をしている(正職員)
- 2 一般就労をしている(パート・アルバイト)
- 3 福祉的就労をしている(就労移行・就労継続支援事業所(作業所))
- 4 自宅で働いている(収入のある仕事)
- 5 福祉的就労以外の通所施設(日中活動の場)に通っている
- 6 学校・大学に通っている
- 7 職業訓練中
- 8 就労活動中
- 9 就労や通所などはしていない
- 10 その他()

問40 問39で「働いている(1~4)」と回答した方にお聞きします。あなたが仕事をすることで困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 身体的な負担が大きい
- 2 精神的な負担が大きい
- 3 仕事が自分には合わない
- 4 職場の障害理解が不十分
- 5 職場の人間関係
- 6 職場の設備が障害に対応していない
- 7 職場の情報保障(手話・点字など)が不十分
- 8 給与・工賃などが少ない
- 9 特にない
- 10 その他()

問41 問39で「9 就労や通所などはしていない」と回答した方にお聞きします。あなたが働いていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 障害や病気の状態のため
- 2 高齢のため
- 3 働く自信がないから
- 4 自分に合った仕事が見つからないから
- 5 希望に合った求人が見つからないから
- 6 通勤・通所が困難だから
- 7 利用できる日中活動の場がないから
- 8 のんびり過ごしたいから
- 9 働く必要がないから
- 10 特に理由はない
- 11 その他()

問42 問39で「9 就労や通所などはしていない」と回答した方にお聞きします。あなたは今後の就労について主にどのように考えますか。(〇はひとつ)

- 1 一般就労をしたい(正職員)
- 2 一般就労をしたい(パート・アルバイト)
- 3 自宅で働きたい(自営業・内職・家業の手伝いなど)
- 4 福祉的就労をしたい(就労移行・就労継続支援事業所(作業所))
- 5 働きたいと思わない
- 6 その他()

問43 障害者が一般就労するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 就労のための総合的な相談支援
- 2 働く能力を身につけるための職業訓練
- 3 職場を理解するための就労体験
- 4 障害特性に合った職業・雇用の拡大
- 5 障害者向けの求人情報の提供
- 6 企業の障害者雇用への理解促進
- 7 職場の障害理解の促進
- 8 職場環境のバリアフリー化
- 9 障害に対応した柔軟な勤務形態
- 10 職場に定着するための支援(ジョブコーチなど)
- 11 通勤手段や通勤支援の確保
- 12 職場での良好な人間関係
- 13 働く時間以外の楽しみ(友人等との交流や個人の趣味、余暇活動など)
- 14 特にない
- 15 その他()

10 切れない支援について

問44 八王子市では、乳幼児期から就学、進学、就労などライフステージの節目で困ることのないよう、子どもの成長や発達を記録・保存する「マイ・ファイル」を作成し、活用していきます。あなたはライフステージの節目において、あなた自身の情報が引き継がれないことで困ったことはありますか。(〇はひとつ)

- 1 ある
- 2 ない

問45 問44で「ある」と回答した方にお聞きします。困ったのはいつですか。
(〇はいくつでも)

- 1 保育園等に入園するとき
- 2 保育園等から小学校へ入学するとき
- 3 小学校から中学校へ進学するとき
- 4 中学校から高等学校へ進学するとき
- 5 高等学校から大学等へ進学するとき
- 6 就労するとき

11 施策について

問46 あなたは今後、行政にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 障害に対する理解の促進 | 12 福祉機器・補装具などの充実 |
| 2 保健・医療の充実 | 13 グループホームなどの整備 |
| 3 教育・育成の充実 | 14 入所施設の充実 |
| 4 雇用・就労支援の充実 | 15 障害者向けの住まいの確保 |
| 5 相談支援体制の充実 | 16 建物・道路などのバリアフリー化 |
| 6 訪問系サービスの充実 | 17 趣味やスポーツ・レクリエーション活動の充実 |
| 7 日中活動系サービスの充実 | 18 年金や手当などの経済的支援の充実 |
| 8 移動支援の充実 | 19 持たない |
| 9 (運動・通学を含む)短期入所の充実 | 20 その他() |
| 10 紫高一時保護の充実 | |
| 11 コミュニケーション支援の充実や情報保障の確保 | |

12 自由意見

問47 市の障害者施策に関するご意見やご要望、あるいはあなたご自身の将来に対する不安など、ご自由にお書きください。

ご回答ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、**平成29年6月5日(月)までに**、ポストに投函してください。

2 「18歳未満とその保護者向けの障害者アンケート」調査票

18歳未満の方と保護者の方

八王子市 障害者アンケート調査

～ 調査へのご協力をお願いします ～

白頭より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

八王子市では、平成29年度に「八王子市障害者計画」、「八王子市障害福祉計画」及び「八王子市障害児福祉計画」を策定するにあたって、障害のある方の生活実態やニーズなどを把握するために、アンケート調査を実施することになりました。つきましては、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は無記名郵送方式で実施し、調査結果は統計的に処理されますので、回答した方が特定されたり、回答内容が明らかになることはありません。調査結果は、市の障害者施策の充実のための資料としてのみ使用され、それ以外の目的で使用されることはありません。

この調査は、障害のある方の中から、無作為で選ばせていただいた方にお送りしています。皆さまの貴重なご意見を、ぜひ計画に反映したいと思っております。この調査の趣意をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成29年5月 八王子市 福祉部 障害福祉課

ご回答にあたって

- ① 到着のあて名をご本人についてご回答ください。(この調査票で「あなた」とあるのは、あて名ご本人(お子さん)のことです)
- ② ご本人が障害や年齢などの理由で回答できない場合は、ご家族や介護者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を()内にお書きください。回答を記入していただく回数もありますので、設問の指示にしたがってご記入ください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、**平成29年6月5日(月)までに**、ポストに投函してください。

お問い合わせ 八王子市 福祉部 障害福祉課
電話 042-620-7245
FAX 042-623-2444

1 ご本人について

問1 この調査票にご回答いただくのはどなたですか。(○はひとつ)

- 1 あて名ご本人 (ご本人の回答を他の方が代筆する場合も含みます)
- 2 ご家族の方
- 3 その他 ()

※ この調査票で「あて名」とあるのは、あて名ご本人(お子さん)のことです。

問2 あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 男性
- 2 女性

問3 あなたの年齢をお聞きます。平成29年4月1日現在の満年齢をお書きください。

問4 あなたが今お住まいの町名をお聞きます。
※地域によるサービス利用の現状等を把握するためにお聞きしています。

例：元本郷町 南大沢 など

問5 あなたが障害（難病（特定疾患）*を含みます）を受けたのは、満何歳のころですか。（〇はひとつ）

*難病（特定疾患）とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。以下、「障害」という句には難病（特定疾患）を含むものとします。

- 1 うまれたとき
- 2 0歳
- 3 1歳
- 4 2歳
- 5 3歳
- 6 4～5歳
- 7 6～11歳
- 8 12歳以上

問6 あなたが持っている障害をお聞かせします。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級・程度にも〇をつけてください。また、発達障害等の診断を受けているかどうかもお答えください。（〇はいくつでも）

- 1 身体障害者手帳（1級 2級 3級 4級 5級 6級）
- 2 愛の手帳（1度 2度 3度 4度）
- 3 精神障害者保健福祉手帳（1級 2級 3級）
- 4 発達障害*の診断を受けている
- 5 高次脳機能障害の診断を受けている
- 6 難病（特定疾患）の診断を受けている
- 7 手帳は持っていない

*発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

問7 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞かせします。障害の種類は何ですか。（〇はいくつでも）

- 1 視覚障害
- 2 聴覚・平衡機能障害
- 3 音声・言語・しゃく機能障害
- 4 肢体不自由
- 5 内臓障害

3

2 医療について

問8 あなたは現在、障害に関することで医療機関を受診していますか。（〇はひとつ）

- 1 受診していない
- 2 通院している
- 3 入院している
- 4 自宅で往診を受けている
- 5 その他（ ）

問9 あなたには、医療に関して困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

- 1 医療機関が家の近くにない
- 2 障害についての専門の医療機関がない
- 3 休日や夜間に対応してくれる医療機関がない
- 4 通院のための介助者が確保しにくい
- 5 通院のための交通機関が整備されていない
- 6 医療機関がバリアフリー化されていない
- 7 気軽に相談できる場がない
- 8 治療の説明が十分理解できない
- 9 医療費の負担が大きい
- 10 障害が理由で医療拒否されたことがある
- 11 特にない
- 12 その他（ ）

3 家族・介助について

問10 あなたを介助しているのは、主にどなたですか。（〇はひとつ）

- 1 母親
- 2 父親
- 3 兄弟姉妹
- 4 その他（ ）
- 5 ホームヘルパー
- 6 施設などの職員
- 7 介助は必要としていない
- 8 その他（ ）

4

問11 問10で「家族が介助している(1~4)」と回答した方にお聞きします。介助者の方はどのようなことで困っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 介助者自身の健康に不安がある
- 2 身体的な負担が大きい
- 3 精神的な負担が大きい
- 4 経済的な負担が大きい
- 5 かわりの介助を頼める人がいない
- 6 緊急時の対応に不安がある
- 7 長期の旅行や外出ができない
- 8 将来の昇進に不安がある
- 9 特にない
- 10 その他()

問12 問10で「家族が介助している(1~4)」と回答した方にお聞きします。主な介助者の方が何らかの理由で介助できない場合、どのようにしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 同居の家族に介助してほしい
- 2 別居の親族に介助してほしい
- 3 ホームヘルパーを利用したい
- 4 ショートステイを利用したい
- 5 民間の有償介助サービスを利用したい
- 6 施設に入所したい
- 7 病院に入院したい
- 8 わからない
- 9 その他()

4 日常生活について

問13 あなたは普段、自由時間は何をして過ごしていますか。

(〇はいくつでも)

- 1 家族との団らん
- 2 友人・知人との交流
- 3 趣味活動・遊び
- 4 スポーツ・運動・レクリエーション
- 5 買い物
- 6 地域の活動
- 7 障害者団体などの活動
- 8 テレビ・ラジオ
- 9 特にない
- 10 その他()

問14 あなたには、日常生活で困っていることはありませんか。(〇はいくつでも)

- 1 身の回りのことが十分できない
- 2 健康状態に不安がある
- 3 本人の成長や昇進に不安がある
- 4 住まいについて困っている
- 5 外出について困っている
- 6 緊急時の対応に不安がある
- 7 教育・療育について困っている
- 8 余暇活動や遊ぶことが十分できない
- 9 スポーツ・運動・レクリエーションが十分できない
- 10 経済的に不安がある
- 11 将来に不安がある
- 12 どうしてもいかわからないことがある
- 13 特にない
- 14 その他()

問15 あなたやご家族の方は、普段困ったときに誰に相談していますか。

(〇はいくつでも)

- 1 同居の家族
- 2 別居の家族・親族
- 3 友人・知人(障害者)
- 4 友人・知人(健常者)
- 5 近所の人
- 6 市のケースワーカー
- 7 ホームヘルパー
- 8 学校・幼稚園・保育所の教職員
- 9 福祉施設の職員
- 10 医療関係者
- 11 民生委員・児童委員
- 12 身体障害者相談員・知的障害者相談員
- 13 相談支援事業所
- 14 保健所・保健センター
- 15 難病相談・支援センター
- 16 障害者団体・患者会
- 17 特にない
- 18 その他()

問16 あなたは、福祉サービスなどの情報を、主にどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

- 1 広報「はちおうじ」
- 2 東京都広報
- 3 市のパンフレットなど
- 4 市のホームページ
- 5 その他のホームページ
- 6 テレビ・ラジオ
- 7 新聞・書籍
- 8 SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
- 9 学校・幼稚園・保育所
- 10 市役所
- 11 医療機関
- 12 福祉施設
- 13 相談支援事業所
- 14 保健所・保健センター
- 15 難病相談・支援センター
- 16 障害者団体・障害会
- 17 友人や知人
- 18 特にない
- 19 その他 ()

問17 あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 サービスに関する情報が少ない
- 2 サービス利用の手続きが大変
- 3 利用したいサービスを利用できない
- 4 利用できる回数や日数が少ない
- 5 希望に合った事業者が見つからない
- 6 サービスの質が良くない
- 7 自分に必要なサービスがない
- 8 誰に相談すればよいかわからない
- 9 特にない
- 10 その他 ()

7

5 災害について

問18 あなたは地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

- 1 ひとりでは避難できない
- 2 自分では助けを呼ぶことができない
- 3 近所に助けてくれる人がいないことが不安
- 4 自宅や避難所で必要な介助や支援を受けられるが不安
- 5 災害についての情報を得るのが難しい
- 6 通学や通所の途中で災害にあった場合の対応がわからない
- 7 避難の仕方や、避難する場所がわからない
- 8 避難所の設備が障害に対応しているか不安
- 9 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい
- 10 薬や医療的ケアを確保できるか不安
- 11 特にない
- 12 その他 ()

問19 あなたは、災害のときにどのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 障害に応じた災害情報の伝達
- 2 見守りや安否の確認
- 3 避難のための介助や支援
- 4 自宅や避難所での介助や支援
- 5 障害に対応した避難所の確保
- 6 薬や医療的ケアの確保
- 7 特にない
- 8 その他 ()

8

6 住まいについて

問20 あなたのお住まいをお聞きます。 (○はひとつ)

- 1 持ち家 (一戸建て)
- 2 持ち家 (集合住宅)
- 3 民間賃貸住宅 (一戸建て)
- 4 民間賃貸住宅 (集合住宅)
- 5 公営住宅 (都営・市営)
- 6 公社・公団賃貸住宅
- 7 グループホームなど
- 8 入所施設
- 9 その他 ()

問21 あなたには、住宅に関して困っていることがありますか。 (○はいくつでも)

- 1 階段の昇り降り
- 2 玄関・出入口の段差
- 3 入口や廊下が狭い
- 4 風呂が使いにくい
- 5 トイレが使いにくい
- 6 建物の老朽化
- 7 家賃など住居費の負担
- 8 住宅を借りるのが難しい
- 9 特になく、満足している
- 10 その他 ()

問22 あなたは、住宅に関して行政が今後どのような取り組みをする必要があると思いますか。 (○はいくつでも)

- 1 住宅改修費の助成を充実する
- 2 公営住宅を障害者が利用しやすくする
- 3 公営住宅の入居の優先枠を拡充する
- 4 障害向け住宅の整備を促進する
- 5 単身者向け住宅の整備を促進する
- 6 グループホームなどの整備を促進する
- 7 家賃の助成をする
- 8 特にない
- 9 その他 ()

9

7 外出について

問23 あなたは普段、どのくらいの頻度で外出していますか。 (○はひとつ)

- 1 ほとんど毎日
- 2 週に3～5日くらい
- 3 週に1～2日くらい
- 4 月に1～3日くらい
- 5 あまり外出しない

問24 あなたは普段、どのような目的で外出していますか。 (○はいくつでも)

- 1 通学・通園
- 2 施設への通所
- 3 通院
- 4 訓練・リハビリ
- 5 買い物
- 6 趣味活動・遊び
- 7 スポーツ・運動・レクリエーション
- 8 友だちとの交流
- 9 旅行
- 10 あまり外出しない
- 11 その他 ()

問25 あなたは普段、どのような移動手段を利用していますか。 (○はいくつでも)

- 1 徒歩
- 2 ベビーカー
- 3 車いす
- 4 電動車いす
- 5 自転車
- 6 オートバイ
- 7 自動車
- 8 電車
- 9 路線バス
- 10 スクールバス
- 11 一般のタクシー
- 12 リフト付きタクシー
- 13 市のリフト付き自動車 (わかこま号)
- 14 あまり外出しない
- 15 その他 ()

10

問26 あなたは、外出するとき、どのようなことで困っていますか。
(〇はいくつでも)

- 1 付き添ってくれる人
- 2 (移動)支援するヘルパー(含む)が少ない
- 3 歩道や道路の段差や幅
- 4 横断用の信号の時間が短い
- 5 音声式信号機の設置が十分でない
- 6 建物の段差・階段・設備
- 7 駅での移動や乗り換え
- 8 バスやタクシーの乗り降り
- 9 電車やバス内などでのアナウンスがわかりにくい
- 10 公共交通機関が少ない
- 11 トイレの利用
- 12 休憩場所がない
- 13 障害者用駐車場が少ない
- 14 交通費の負担
- 15 多動やこだわりのある心身の変化
- 16 安全確保が難しい
- 17 周囲の目が気になる
- 18 困ったときどうすればいいかわからない
- 19 特になし
- 20 その他()

8 権利擁護について

問27 あなたは次のような権利擁護の取り組みを知っていますか。
(〇はひとつ)

名称と内容	回答はこちらに ↓
① 成年後見制度 高齢者や障害者など、判断能力が十分ではない方の権利を守る制度です。成年後見人などが契約や手続きなどを代行したり、本人が誤って結んだ契約を取り消したりします。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない
② 地域福祉権利擁護事業 高齢者や障害者など、判断能力が十分ではない方の福祉サービスの利用などを支援する制度(福祉サービスの利用援助、日常的な金融管理サービス、書類等の預かりサービスなど)です。利用契約を結び、支援計画に沿って支援を行います。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない
③ 障害を理由とする差別の解消に関する法律(差別解消法) 障害のある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会を目指して、平成28年4月1日にスタートした法律です。障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することの禁止や、合理的配慮を提供することを規定しています。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない
④ 障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例(差別禁止条例) 市民が障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら共に安心して暮らすことができる社会の実現に寄与することを目的として、市民が障害に対して理解を深めること、差別を禁止すること、差別があったときに相談できる仕組みなどを規定しています。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない

⑤八王子市障害者虐待防止センター
 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する
 支援等に関する法律により、あなたが養護者や福祉
 施設の従事者、会社の使用者から、叩かれたり、馬鹿
 にされたりするなどの虐待があったときに相談など
 をすることができる虐待防止センターを設置してい
 ます。

- 1 内容を知っている
- 2 名前は聞いたことがある
- 3 知らない

問28 あなたは今後、成年後見制度を利用したいと思いませんか。(○はひとつ)

- 1 今後利用したい
- 2 利用したくない
- 3 わからない

問29 あなたは今後、地域福祉権利擁護事業を利用したいと思いませんか。(○はひとつ)

- 1 今後利用したい
- 2 利用したくない
- 3 わからない

問30 あなたやご家族の方は、あなたの障害のことで差別や人権侵害を受け
 ていると感じることがありますか。(○はひとつ)

- 1 いつも感じる
- 2 ときどき感じる
- 3 あまり感じない
- 4 まったく感じない

問31 問30で「1 いつも感じる」、「2 ときどき感じる」と回答した方に
 お聞きします。差別や人権侵害を受けていると感じるのはどのようなときで
 すか。具体的に教えてください。

Blank response area for question 31.

問32 あなたは、障害による差別や人権侵害をなくすために、どのようなこ
 とが必要だと思いますか。具体的に教えてください。

Blank response area for question 32.

問33 あなたが差別を受けたときや虐待があったときは、市や相談支援事
 業者に相談などをすることができます。この制度があることで、あなたは
 安心して暮らすことができますか。(○はひとつ)
 ※相談支援事業者とは、障害者生活支援センター「ひあ・らいふ」、相談支援
 センター「サポート南多摩」、相談支援センター「八王子地域生活支援室
 高尾」、地域活動支援センター「あくせす」、相談支援センター「待望」の
 5つを指します。

- 1 安心できる
- 2 少し安心できる
- 3 安心できない
- 4 わからない

9 教育・療育について

問34 あなたは平日の日中、どこに通っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 保育園
- 2 幼稚園
- 3 児童発達支援センター※1
- 4 療育施設※2
- 5 小学校(通常学級)
- 6 小学校(特別支援学級)
- 7 特別支援学校(小学部)
- 8 中学校(通常学級)
- 9 中学校(特別支援学級)
- 10 特別支援学校(中学部)
- 11 高等学校
- 12 特別支援学校(高等部)
- 13 その他の学校
- 14 どこにも通っていない
- 15 その他()

※1 八王子市内では、すぎな愛育園(分園を除く)が該当
 ※2 3の児童発達支援センター以外の児童発達支援事業を行う施設

問35 あなたは学校の放課後などは、どのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)

- 1 家族・親族がいる
- 2 友人・知人がいる
- 3 ひとりである
- 4 ヘルパーなどという
- 5 放課後等デイサービスを利用している
- 6 児童保育所を利用している
- 7 児童館を利用している
- 8 習い事や塾に行く
- 9 その他()

問36 あなたには、療育や訓練について、現在困っていることや以前に困っていたことがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 療育・訓練に関する情報が少ない
- 2 療育・訓練を受けられる施設が見つからない
- 3 療育・訓練を受けられる回数が少ない
- 4 療育・訓練の内容が不十分である
- 5 療育・訓練のための費用負担が大きい
- 6 通園・通所(送り迎え)が大変である
- 7 特になし
- 8 その他()

問37 あなたには、学校や教育について、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 教育に関する情報が少ない
- 2 教職員の指導の仕方が心配
- 3 学校のカリキュラムが本人に合わない
- 4 友だちとの関係づくりに問題がある
- 5 今後の学校選択で迷っている
- 6 学校卒業後の進路に不安がある
- 7 通学(送り迎え)が大変である
- 8 親などの介助者が必要
- 9 学校等のバリアフリーが十分でない
- 10 特になし
- 11 その他()

問38 学校卒業後は、どのような進路を希望していますか。(〇はいくつでも)

- 1 大学・短大などに進学したい
- 2 専門学校などに進学したい
- 3 職業訓練学校などに進学したい
- 4 正職員として働きたい
- 5 パート・アルバイトなどで働きたい
- 6 福祉的就労をしたい
- 7 就労移行・就労継続支援事業所(作業所)
- 8 福祉的就労以外の通所施設に通いたい
- 9 わからない
- 10 その他()

問39 障害者が一般就労するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 就労のための総合的な相談支援
- 2 働く能力を身につけるための職業訓練
- 3 職場を理解するための就労体験
- 4 障害特性に合った職業・雇用の拡大
- 5 障害向けの求人情報の提供
- 6 企業の障害者雇用への理解促進
- 7 職場の障害理解の促進
- 8 職場環境のバリアフリー化
- 9 障害に対応した柔軟な勤務形態
- 10 職場に定着するための支援(ジョブコーチなど)
- 11 通勤手段や通勤支援の確保
- 12 職場での良好な人間関係
- 13 働く時間以外の楽しみ(友人等との交流や個人の趣味、余暇活動など)
- 14 持っていない
- 15 その他()

10 切れ目ない支援について

問40 八王子市では、乳幼児期から就学、進学、就労などライフステージの節目で困ることのないよう、子どもの成長や発達を記録・保存する「マイ・ファイル」を作成し、活用していきます。
あなたはライフステージの節目において、あなた自身の情報が引き継がれないことで困ったことはありませんか。(〇はいつ)

- 1 ある
- 2 ない

問41 問40で「ある」と回答した方にお聞きします。困ったのはいつですか。(〇はいくつでも)

- 1 保育園等に入園するとき
- 2 保育園等から小学校へ入学するとき
- 3 小学校から中学校へ進学するとき
- 4 中学校から高等学校へ進学するとき
- 5 高等学校から大学等へ進学するとき
- 6 就労するとき

11 施策について

問42 あなたは今後、行政にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|----|-----------------------|----|----------------------------|
| 1 | 障害に対する理解の促進 | 13 | 緊急一時保護の充実 |
| 2 | 保健・医療の充実 | 14 | 福祉機器・補装具などの充実 |
| 3 | 教育・育成の充実 | 15 | コミュニケーション支援の充実
や情報保障の確保 |
| 4 | 雇用・就労支援の充実 | 16 | グループホームなどの整備 |
| 5 | 相談支援体制の充実 | 17 | 入所施設の充実 |
| 6 | 訪問系サービスの充実 | 18 | 障害者向けの住まいの確保 |
| 7 | 日中活動系サービスの充実 | 19 | 建物・道徳などのバリアフリー化 |
| 8 | 放課後等デイサービスの拡充 | 20 | 趣味やスポーツ・レクリエーション
活動の充実 |
| 9 | 児童発達支援センターの拡充 | 21 | 年金や手当など経済的支援の充実 |
| 10 | 児童発達支援事業所の拡充 | 22 | 特になし |
| 11 | 移動支援の充実
(通勤・通学を含む) | 23 | その他() |
| 12 | 短期入所の充実 | | |

12 自由意見

問43 市の障害者施策に関するご意見やご要望、あるいはあなたご自身の将来に対する不安など、ご自由にお書きください。

ご回答ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、平成29年6月5日(月)までに、ポストに投函してください。

はちおうじししょうがいしゃちょうさほうこくしょ
八王子市障害者調査報告書

へいせい ねん がつ
平成30年3月

はつ こう はちおうじし へん しゅう ふくしふ しょうがいしゃふくしか
発 行 : 八王子市 編 集 : 福祉部 障害者福祉課

はちおうじしもとほんごうちょう
〒192-8501 八王子市元本郷町3-24-1

でんわ ふあつくす
電話 042-620-7367 F A X 042-623-2444

いー めーる
E-mail b440600@city.hachioji.tokyo.jp